平成 25 年度　調査研究

学校間の接続に関する調査研究

社会・地歴公民

埼玉県立総合教育センター
教育課程担当

【社会・地歴公民科】

１　調査研究の視点

元文部科学省教科調査官の北俊夫氏は､｢従来から小学校と中学校との連携ということは、各方面で盛んに言われてきた。ところが、実際の実践レベルの取組を見ると、なかなか実があがっていないようである。･･･小学校と中学校の社会科授業には、相変わらずギャップがある」(『社会科の本質　目標・内容をどう構造化するかー小・中連携の系統ー』) と指摘している。本研究では、小中高の接続期における社会科の学びの連続性を踏まえ、児童生徒及び教員からの意識調査を基に、各校種間のギャップ（以下、本研究においては「段差」という）を明らかにするとともに、その段差を滑らかに接続させるためのプログラムの開発を行うこととする。

２　研究テーマ

小中高の接続期における学びの連続性を踏まえた指導の改善
～２年次：各校種間の段差を円滑にするための接続プログラムの開発～

３　昨年度の取組

昨年度の調査研究の取組は、以下のとおりである。

① 平成 15 年度以降の調査研究の成果と課題を整理し､小中高の接続期における学びの連続性を踏まえ、各校種の教科書研究を行い、小中高の学習内容の系統性について整理した。

② 接続期の児童生徒や指導する教員の意識調査並びにＪプラン（中１ギャップの解消をねらいとした小中学校間の人事交流）等を経験した教員から聞き取り調査を実施し、各校種間の段差を明らかにした。そして、各校種間の段差を円滑にするための手立てについて検討した。

表　接続期の児童生徒の意識調査（抜粋）

主な質問	小６	中１	中３	高１
Q1-1　地理的分野の授業が好き		67.7	52.4	40.1
Q1-11 地理的分野の内容が理解できる		81.2	66.6	62.9
Q2-2　社会の授業で発表する力が身に付いた	72.0	45.9	43.4	21.2
Q2-7　自ら進んで社会の勉強ができた	76.6	65.7	53.5	36.6
Q4-8　考えたり、調べたりしたことを発表する学習が好き	74.5	53.7	50.0	37.6
Q5-8　社会科の勉強の仕方がわからない	32.1	68.1	61.4	48.4
Q8　中学校の社会科の勉強について不安なこと（複数回答可）				
・授業の進む速さ	61.0	15.0		
・学習する内容の多さ	54.0	23.0		

昨年度の調査研究の成果は、以下のとおりである。

① 小中高の教科書を分析し、学習内容の系統性を地理・歴史・公民の各分野で一覧表に整理するとともに、学習内容の段差を明らかにした。

② 高校の学習を進めていく上で、中学校地理的分野の学習が重要な学習領域になるとともに、分野によっては中学校段階で最終となる学習領域が存在することが明らかになった。

③ 次の学校段階の学習内容等に不安（＝段差）を感じている児童生徒に対して、次の学校段階の授業開き等で、授業の進め方や学習内容について丁寧にガイダンスを

行ったり、接続プログラムを導入したりすることで、児童生徒の段差を解消することができると考えた。

	明らかになった主な段差	段差を円滑にするための手立て
地理的分野	・小学校から中学校へ学習内容や資料活用能力の深化にともない段差がある。 ・中学校では、動態地誌的に州や地方の地域的特色を見出すが、高校では、静態地誌的に事例地や事例国を取り上げて学習するため、学習する内容がより細部にわたり、段差を生じさせている。また、系統的に発展しない単元や学習内容がある。	・小学校で身に付けることができなかった地理的技能は、中学校において繰り返し指導をする。 ・高校の教科書では、中学校段階で習得していることを前提としているため、地理的分野の基礎的・基本的な知識・理解や地理的技能は、中学校段階でしっかりと身に付けさせる。
歴史的分野	・小学校における人物や文化遺産を中心とする学習は、歴史の流れを捉えづらいため、どの人物がどの時代のどんな出来事と関連しているのかが曖昧になってしまい、段差を生じさせる原因となっている。 ・中学校において「歴史」として学習した内容が、高校では「日本史」「世界史」と分かれてしまうため、日本と世界の横のつながりや同時代の世界の歴史を学習する際に段差がある。	・中学校進学を控えた小学生に、人物の活躍した時代背景や時代と時代のつながりに目を向けさせる指導をする。 ・中学校の学習において、様々な歴史的事象には横のつながりや世界とのつながりがあることを意識した授業を行う。また、歴史的分野に出てくる国名や地名、それらの位置を習得させる。
公民的分野	・小学校の教員が、公民的分野の学習内容の系統性について、必ずしも意識していない。また、小学校の学習内容とつながる中学校の学習内容に、学習する時期のブランクがある。 ・高校での学習内容は、抽象的な内容が増え、特に経済分野の学習内容において顕著な段差がある。	・学習する時期のブランクを埋めるために、社会科の授業以外にも新聞やニュースの内容と中学校での学習内容と関連の深い出来事に目を向けさせる。 ・学習者がどこで何に段差を感じているかを把握し、新聞等を活用して身近な例を提示しながら授業を進める。

4　本年度の取組

本年度は、各校種間の段差を滑らかにすることで、児童生徒の学習意欲をさらに高めることができるとともに、確かな学力を身に付けさせることができると考え、昨年度の調査研究で明らかになった段差について、小中高の接続期における学びの連続性を踏まえ、その段差を円滑に接続させるための「接続プログラム」の開発を行った。

小学校中学校間では、小学校６年を対象に、地理的分野（主に小学校４年～６年の学習内容）と歴史的分野（小学校６年の学習内容）の総復習をねらいとした「接続プログラム」を開発した。また、中学校１年を対象に、小学校の地理的分野と歴史的分野の学習内容と中学校の学習内容との連続性を踏まえた「接続プログラム」を開発した。

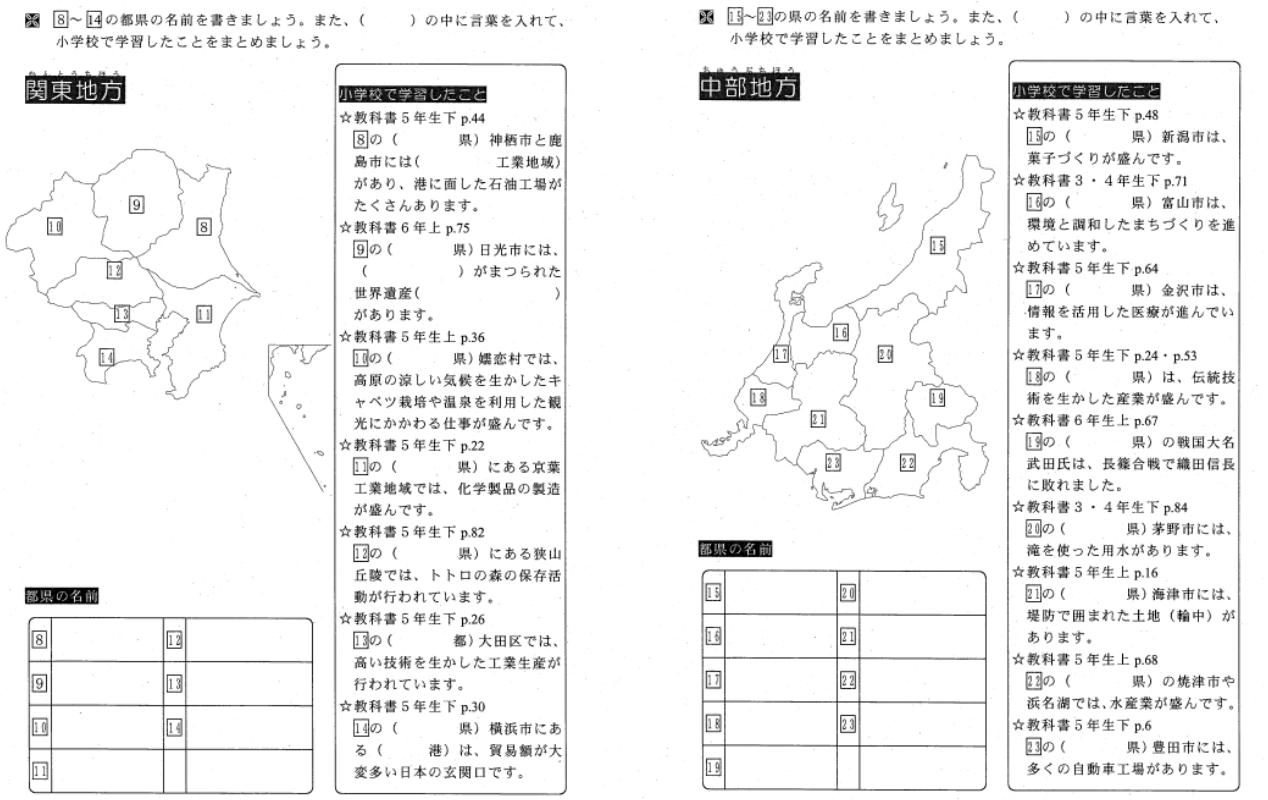
中学校高校間では、高校の世界史と現代社会の学習者を対象とした、中学校の歴史的

分野の学習内容と世界史との関連を踏まえた「接続プログラム」と中学校公民的分野の学習内容と現代社会との関連を踏まえた「接続プログラム」を開発した。

（１）小学校中学校間の接続プログラム（小６対象）

①　小学校地理的分野の総復習プログラム

本接続プログラムは、小学校で学習した地理的分野の内容を整理し、再確認するとともに、中学校の地理的分野の学習に向けた準備をすることをねらいとし、児童が都道府県の名称と位置を確認しながら、それらを地方という枠組みで捉えることができるようなワークシートで構成した。また、小学校６年下の教科書の巻末に掲載されている「中学校に向けて」を活用し、沖縄の民家とインドネシアに見られる住居の写真を比べ、共通しているところと異なっているところは何かを考えながら、中学校の学習をイメージさせ、中学校に向けての学習ガイダンスを行うことが大切である。さらに、小学校の学習内容を活用して考察させながら理解を図り、中学校で新たに学習する内容は広がりがあることを理解させることをねらいとするプログラムを開発した。



②　小学校歴史的分野の総復習プログラム

小学校から中学校へ進学する児童の歴史的分野の学習における課題として、次の２点を挙げることができる。１つ目は、歴史上の人物の個々の業績を理解しているものの、その人物がいつの時代に活躍したのかを十分に理解できていない点である。２つ目は、時代の流れ（貴族→武士→明治以降）がつかめておらず、学習内容が断片的になっている点である。これらのことが中学校入学後、授業進度や学習内容の多さ、定期テスト等への不安につながっていくと考えられる。

そこで、中学校進学をひかえた小６の児童の接続期に、上記の課題を解決することをねらいとした接続プログラムを開発した。学習内容の補充の手立てとしてワークシート３枚を活用する。シート①では、既習の歴史上の人物を厳選し、年表に位置付け、時代の流れを総復習する。シート②では、小学校段階で学習した時代名、政治・文化に関連

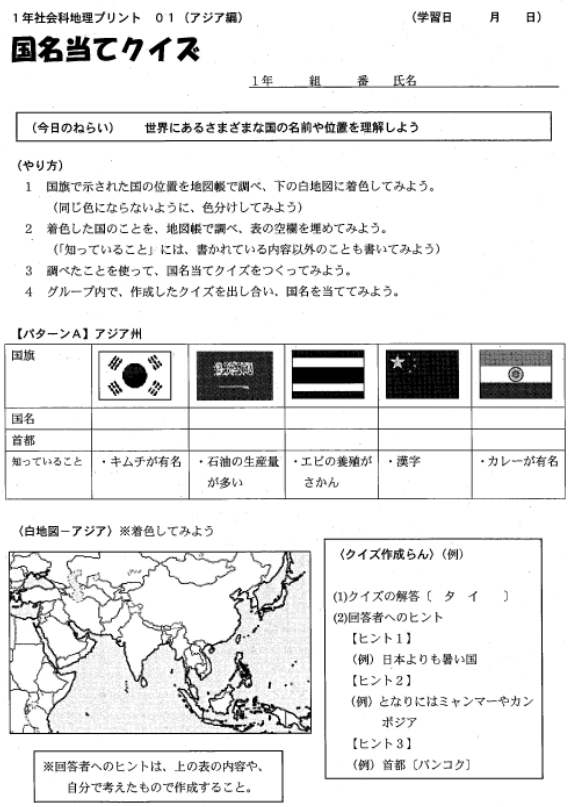
する人物名をおさえる。シート③では、年表全体を原始・古代・中世・近世・近代・現代に分け、その区分ごとに小学校段階での学習内容を復習できるようにする（本提案では「古代」を例として掲載する）。その際、以下の２点の配慮が必要である。１つ目は、中学校の社会科（歴史的分野）教科書の年表を提示し、「○世紀」「古代・中世等」という表記が出てくることを確認し、小学校は人物を柱（基本）に学習してきたことを確認する。２つ目は、小学校での内容をもとに、中学校では縄文時代以前の歴史や世界の歴史との関連にもふれることを確認し、より広く歴史を学ぶことといった見通しをもたせることが大切である。

（２）小学校中学校間の接続プログラム（中１対象）

①　中学校地理的分野のスタートプログラム

小学校から中学校へ進学した生徒の地理的分野の学習における課題としては、次の２点を挙げることができる。１つ目は、小学校６年では主に歴史的分野と公民的分野を学習し、地理的分野は小学校５年までさかのぼらなければならない点である。２つ目は、小学校の既習事項を振り返る単元が、歴史的分野の教科書にはあるが、地理的分野の教科書にはないことである。これらのことから、地理的分野の接続プログラムでは、小学校での既習事項をイメージさせながら、中学校の新たな学習内容をつかめるような授業展開の工夫が必要である。

そこで、本接続プログラムでは、小学校の既習事項をワークシートに取り入れ、中学校の学習内容へスムーズに接続できる展開を工夫した。第１時では、小学校５年の単元「わたしたちの国土」や小学校６年の単元「世界の中の日本」等で扱った国を中心に取り上げ、その国旗を提示し、「国名当てクイズ」の作成を行う。世界地理から始まる中学校の地理的分野に、スムーズに入れることを意識した学習内容である。第２・３時は、小学校５年で学習した「六大陸・三大洋」を確認し、地球儀と世界地図の違いや、世界の地域区分へと学習内容を広げていく展開とした。



1年社会科地理プリント　01（アジア編）　（学習日　月　日）

国名当てクイズ

1年　組　番　氏名

（今日のねらい）　世界にあるさまざまな国の名前や位置を理解しよう

（やり方）
1　国旗で示された国の位置を地図帳で調べ、下の白地図に着色してみよう。
（同じ色にならないように、色分けしてみよう）
2　着色した国のことを、地図帳で調べ、表の空欄を埋めてみよう。
（「知っていること」には、書かれている内容以外のことも書いてみよう）
3　調べたことを使って、国名当てクイズをつくってみよう。
4　グループ内で、作成したクイズを出し合い、国名を当ててみよう。

【パターンA】アジア州

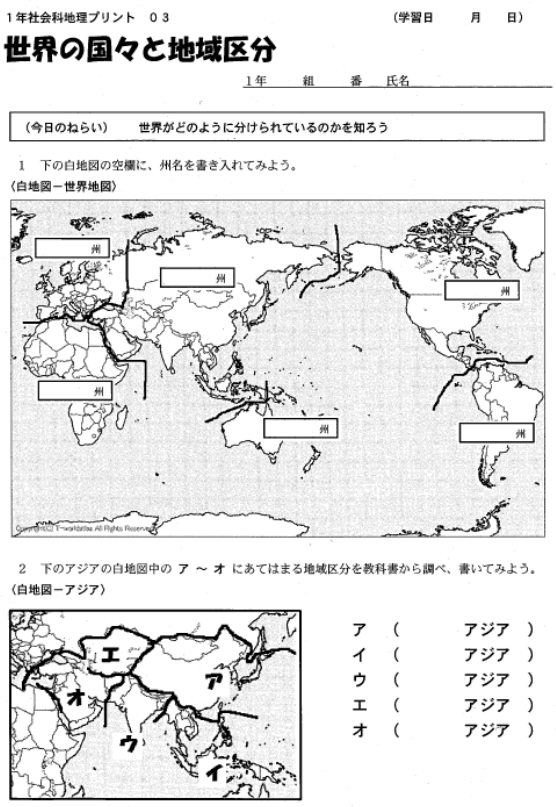
国旗					
国名					
首都					
知っていること	・キムチが有名	・石油の生産量が多い	・エビの養殖がさかん	・漢字	・カレーが有名

（白地図－アジア）※着色してみよう

（クイズ作成らん）（例）

(1)クイズの解答〔　タ　イ　〕
(2)回答者へのヒント
【ヒント1】
（例）日本よりも暑い国
【ヒント2】
（例）となりにはミャンマーやカンボジア
【ヒント3】
（例）首都〔バンコク〕

※回答者へのヒントは、上の表の内容や、自分で考えたもので作成すること。



1年社会科地理プリント　03　（学習日　月　日）

世界の国々と地域区分

1年　組　番　氏名

（今日のねらい）　世界がどのように分けられているのかを知ろう

1　下の白地図の空欄に、州名を書き入れてみよう。
（白地図－世界地図）

州　州　州　州　州　州

2　下のアジアの白地図中の ア ～ オ にあてはまる地域区分を教科書から調べ、書いてみよう。
（白地図－アジア）

ア　（　　アジア　）
イ　（　　アジア　）
ウ　（　　アジア　）
エ　（　　アジア　）
オ　（　　アジア　）

②　中学校歴史的分野のスタートプログラム

本接続プログラムは、「中学校学習指導要領内容（１）歴史のとらえ方のア」を受け、時代の区分やその移り変わりに気付かせ、歴史を学ぶ意欲を高めるとともに、年代のあらわし方や時代区分についての基本的な内容を理解させることをねらいとし、中学校の歴史学習の導入部分に位置づけられるように構成した。

第１時では、中学校の歴史学習に対して段差を感じさせないために、教科書の巻頭の「歴史の流れ」のイラストを使い、小学校の既習事項を確認する。その後、時代の区分の仕方や西暦年、世紀、年号等の中学校の歴史学習で必要な基礎的・基本的な事項について理解させる。第２～４時で、小学校で学習した歴史上の人物、文化財、出来事についてカードにまとめさせる。ここでは、グループで活動させることで、歴史の苦手な生徒も興味をもって学習に取り組めるようにしたい。また、カードの中には「応仁の乱」「第一次世界大戦」など、中学校で初めて学習する内容も入れることで、中学校の歴史学習をイメージさせたい。最後に、作成したカードを年表に貼ってまとめることで、歴史の大きな流れを確認するとともに、第１時に学習した時代のあらわし方を活用し、知識の定着を図っていきたい。

（３）中学校高校間の接続プログラム（高校での科目選択者対象）

①　世界史へのいざないプログラム

高等学校の地理歴史科の必履修科目である世界史の中で、世界史Ａを選択する学習者を対象とした接続プログラムを構想した。世界史を初めて履修する生徒に対する初回の授業で活用できるプログラムとした。内容的には世界史Ｂでも活用できるものである。

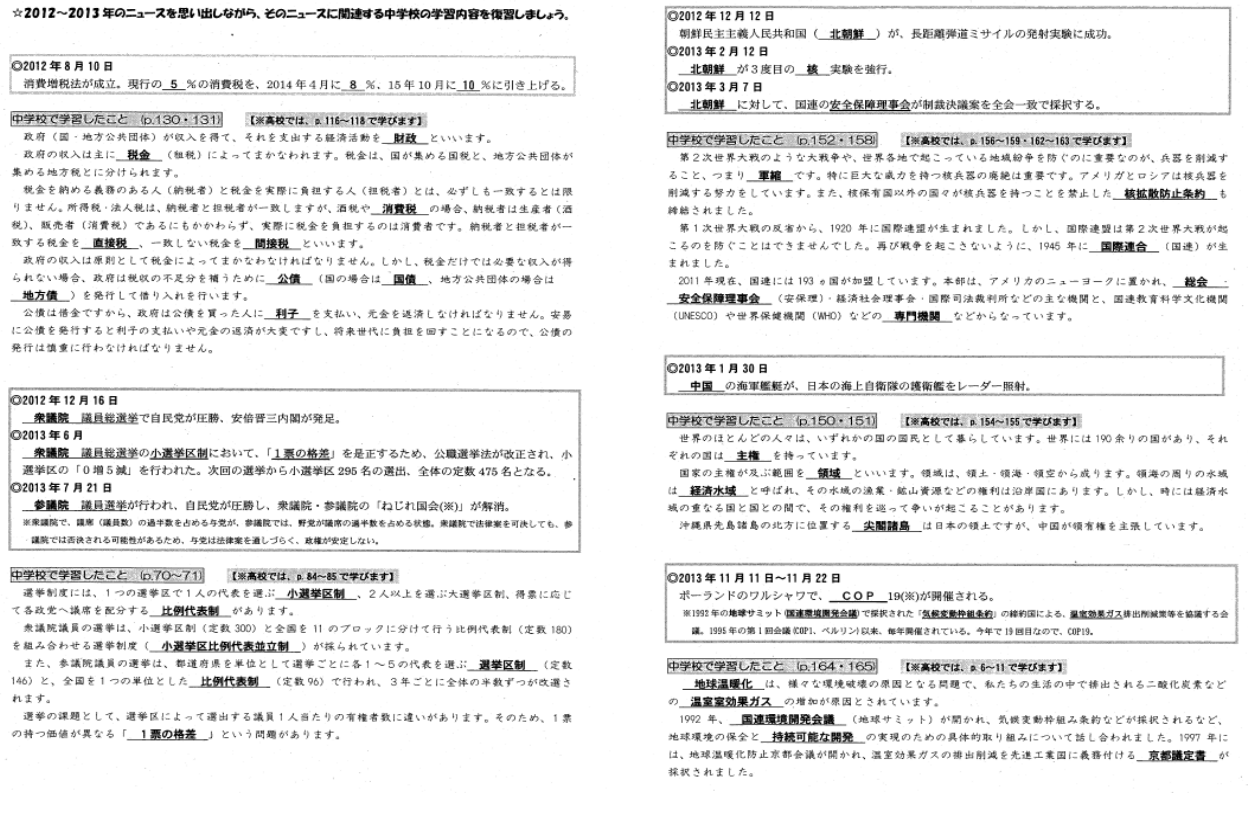
高校における世界史学習では、大きな時間の流れと空間の広がりをおさえていく必要がある。高校における世界史学習がスムーズに始められるには、中学校の地理的分野、特に主要な国や地域の位置や大まかな地形、気候を理解していることや，

科目間の連携の視点から日本史との連携を図ることが求められている。

本接続プログラムでは、生徒同士の意見交換や学び合いの中で、新たな学習の場におけるコミュニケーション力の向上も目指し、小中学校の歴史学習で登場した３人の人物を通して、彼らの背景にある世界史を垣間見ることで世界史学習の導入を図ろうとした。

②　政治経済・現代社会へのいざないプログラム

中学校高校間における生徒の実態から、高校の政治経済の学習内容は、中学校の公民分野に比べると、より抽象的になるという点が課題である。このことが、政治経済を選択する学習者が理解する際に、難しいと感じる要因であると考える。そこで、上記の課題の解消をねらいとした新聞を活用した接続プログラムを提案する。高校でより抽象的になる学習内容を理解するために、本接続プログラムは、中学校の公民的分野の内容に遡り、新聞やニュースの時事的内容を活用し、抽象的な内容を具体化することで、生徒の理解を助けるとともに、学習内容と時事的な内容のつながりを認識することで、学習する動機付けになると考えられる。そして、政治経済や現代社会の学習内容が、中学校の公民的分野と関連し、普段見聞するニュースとつながっていることを、生徒に意識させたい。その意識が、政治経済や現代社会の学習内容を学ぶ動機づけにつながると考える。実践の詳細は、別紙の通りであるが、以下の２点に配慮して教科指導を行いたい。１つ目は、特定の分野に偏ることなく、政治・経済・国際、各分野満遍なく取り上げること。２つ目は、教科書の冒頭にある環境分野の学習につなげることである



☆2012～2013 年のニュースを思い出しながら、そのニュースに関連する中学校の学習内容を復習しましょう。

◎2012 年 8 月 10 日
消費増税法が成立。現行の 5 %の消費税を、2014 年 4 月に 8 %、15 年 10 月に 10 %に引き上げる。

中学校で学習したこと (p.130・131)　【※高校では、p.116～118 で学びます】
政府（国・地方公共団体）が収入を得て、それを支出する経済活動を 財政 といいます。
政府の収入は主に 税金 （租税）によってまかなわれます。税金は、国が集める国税と、地方公共団体が集める地方税とに分けられます。
税金を納める義務のある人（納税者）と税金を実際に負担する人（担税者）とは、必ずしも一致するとは限りません。所得税・法人税は、納税者と担税者が一致しますが、酒税や 消費税 の場合、納税者は生産者（酒税）、販売者（消費税）であるにもかかわらず、実際に税金を負担するのは消費者です。納税者と担税者が一致する税金を 直接税 、一致しない税金を 間接税 といいます。
政府の収入は原則として税金によってまかなわなければなりません。しかし、税金だけでは必要な収入が得られない場合、政府は税収の不足分を補うために 公債 （国の場合は 国債 、地方公共団体の場合は 地方債 ）を発行して借り入れを行います。
公債は借金ですから、政府は公債を買った人に 利子 を支払い、元金を返済しなければなりません。安易に公債を発行すると利子の支払いや元金の返済が大変ですし、将来世代に負担を回すことになるので、公債の発行は慎重に行わなければなりません。

◎2012 年 12 月 16 日
衆議院 議員総選挙で自民党が圧勝、安倍晋三内閣が発足。
◎2013 年 6 月
衆議院 議員総選挙の小選挙区制において、「1 票の格差」を是正するため、公職選挙法が改正され、小選挙区の「0 増 5 減」を行われた。次回の選挙から小選挙区 295 名の選出、全体の定数 475 名となる。
◎2013 年 7 月 21 日
参議院 議員選挙が行われ、自民党が圧勝し、衆議院・参議院の「ねじれ国会(※)」が解消。
※衆議院で、議席（議員数）の過半数を占める与党が、参議院では、野党が議席の過半数を占める状態。衆議院で法律案を可決しても、参議院では否決される可能性があるため、与党は法律案を通しづらく、政権が安定しない。

中学校で学習したこと (p.70～71)　【※高校では、p.84～85 で学びます】
選挙制度には、1 つの選挙区で 1 人の代表を選ぶ 小選挙区制 、2 人以上を選ぶ大選挙区制、得票に応じて各政党へ議席を配分する 比例代表制 があります。
衆議院議員の選挙は、小選挙区制（定数 300）と全国を 11 のブロックに分けて行う比例代表制（定数 180）を組み合わせる選挙制度（ 小選挙区比例代表並立制 ）が採られています。
また、参議院議員の選挙は、都道府県を単位として選挙ごとに各 1～5 の代表を選ぶ 選挙区制 （定数 146）と、全国を 1 つの単位とした 比例代表制 （定数 96）で行われ、3 年ごとに全体の半数ずつが改選されます。
選挙の課題として、選挙区によって選出する議員 1 人当たりの有権者数に違いがあります。そのため、1 票の持つ価値が異なる「 1 票の格差 」という問題があります。

◎2012 年 12 月 12 日
朝鮮民主主義人民共和国（ 北朝鮮 ）が、長距離弾道ミサイルの発射実験に成功。
◎2013 年 2 月 12 日
北朝鮮 が 3 度目の 核 実験を強行。
◎2013 年 3 月 7 日
北朝鮮 に対して、国連の安全保障理事会が制裁決議案を全会一致で採択する。

中学校で学習したこと (p.152・158)　【※高校では、p.156～159・162～163 で学びます】
第２次世界大戦のような大戦争や、世界各地で起こっている地域紛争を防ぐのに重要なのが、兵器を削減すること、つまり 軍縮 です。特に巨大な威力を持つ核兵器の廃絶は重要です。アメリカとロシアは核兵器を削減する努力をしています。また、核保有国以外の国々が核兵器を持つことを禁止した 核拡散防止条約 も締結されました。
第１次世界大戦の反省から、1920 年に国際連盟が生まれました。しかし、国際連盟は第２次世界大戦が起こるのを防ぐことはできませんでした。再び戦争を起こさないように、1945 年に 国際連合 （国連）が生まれました。
2011 年現在、国連には 193 ヵ国が加盟しています。本部は、アメリカのニューヨークに置かれ、 総会 ・ 安全保障理事会 （安保理）・経済社会理事会・国際司法裁判所などの主な機関と、国連教育科学文化機関（UNESCO）や世界保健機関（WHO）などの 専門機関 などからなっています。

◎2013 年 1 月 30 日
中国 の海軍艦艇が、日本の海上自衛隊の護衛艦をレーダー照射。

中学校で学習したこと (p.150・151)　【※高校では、p.154～155 で学びます】
世界のほとんどの人々は、いずれかの国の国民として暮らしています。世界には 190 余りの国があり、それぞれの国は 主権 を持っています。
国家の主権が及ぶ範囲を 領域 といいます。領域は、領土・領海・領空から成ります。領海の周りの水域は 経済水域 と呼ばれ、その水域の漁業・鉱山資源などの権利は沿岸国にあります。しかし、時には経済水域の重なる国と国との間で、その権利を巡って争いが起こることがあります。
沖縄県先島諸島の北方に位置する 尖閣諸島 は日本の領土ですが、中国が領有権を主張しています。

◎2013 年 11 月 11 日～11 月 22 日
ポーランドのワルシャワで、 ＣＯＰ 19(※)が開催される。
※1992 年の地球サミット（国連環境開発会議）で採択された「気候変動枠組条約」の締約国による、温室効果ガス排出削減策等を協議する会議。1995 年の第 1 回会議（COP1、ベルリン）以来、毎年開催されている。今年で 19 回目なので、COP19。

中学校で学習したこと (p.164・165)　【※高校では、p.6～11 で学びます】
地球温暖化 は、様々な環境破壊の原因となる問題で、私たちの生活の中で排出される二酸化炭素などの 温室室効果ガス の増加が原因とされています。
1992 年、 国連環境開発会議 （地球サミット）が開かれ、気候変動枠組み条約などが採択されるなど、地球環境の保全と 持続可能な開発 の実現のための具体的取り組みについて話し合われました。1997 年には、地球温暖化防止京都会議が開かれ、温室効果ガスの排出削減を先進工業国に義務付ける 京都議定書 が採択されました。

（４）その他

①　授業開きガイダンスプログラム

上級の学校種に進学し、新しい学校段階の学習内容等に不安（＝段差）を感じている児童生徒に対して、年度当初の授業開き等で、授業の進め方や学習内容につい

て丁寧にガイダンスを行ったり、接続プログラムを導入したりすることで、児童生徒の段差を解消することができると考える。例えば、中学校の授業の進め方や授業での約束、ノートのとり方等、入学してきた生徒が不安に感じていることを解消できるように、ガイダンスプログラムを通して丁寧に進めたい。また、中学校や高校では、入学直後の授業開きガイダンスだけでなく、各分野や各科目がスタートする時にも、同様にガイダンスプログラムを取り入れたい。

５　本年度の成果と課題

（１）成果

本年度は、小中高の接続期における段差を円滑に接続させるための「接続プログラム」の開発を行った。これまで、中学校から高校へ進学する際に、多くの高校で中学校の学習内容について総復習させるワークやプリントを春休みの課題として課しており、入学後に到達度テストを実施することで一定の成果を収めている。この取組は、本年度提示した「接続プログラム」と同様と考えられる。このように、これまで実践してきた取り組みについて、改めて接続期の段差を円滑にするための「接続プログラム」として見直し、指導計画に位置付けることが、段差を解消する手立てになると考える。「接続プログラム」活用の成果は、以下の３点である。１つ目は、各校種間の地理・歴史・公民の分野の系統性の視点から、前の学校段階の基礎的・基本的な知識・理解と技能については、前の学校段階のまとめの時期に、習得させる時間を生み出してでも、総復習プログラムを活用してしっかりと身に付けさせる必要があることを改めて確認できた。２つ目は、高校進学をひかえた中学校３年の生徒が取り組む春休みの課題は、中学校進学をひかえた小学校６年の児童にも効果がある。３つ目は、次の学校段階に進学した生徒が感じる段差については、各校種、各分野の授業開き及び最初の単元で「接続プログラム」を実施することで、具体的な授業の流れをイメージさせるとともに、段差を滑らかにする手立てとして有効である。

（２）課題

「接続プログラム」を実施するにあたり、課題を２つ挙げることができる。１つ目は、次の学校段階へ進学をひかえた児童生徒に、「総復習プログラム」を実施する際に、年間指導計画に位置付けていないと、実施する時間を生み出すことが難しい点である。２つ目に、次の学校段階に入学してくる生徒に実施する「スタートプログラム」や「いざないプログラム」は、知識・理解の習得を図るだけの内容では、生徒の学習意欲を喚起したり、今後の学習をイメージさせたりすることができない点である。指導計画やワークシートのより一層の工夫が必要である。

６　研究のまとめ

北俊夫氏は、小学校と中学校が共に連携していくためには、①異校種間の学習指導要領と教科書を読む、②相互に授業を参観する、③共に授業をつくり実践する、ことを提案している。本調査研究では、小中高の接続期における社会科の学びの連続性を踏まえ、学習指導要領や教科書を分析し、各学校種間の段差について明らかにするとともに、段差を滑らかに接続させるための「接続プログラム」を開発した。北氏が提案していることの一部を形に表すことができた、と考える。今後、本調査研究で開発した「接続プログラム」等を活用することで、各学校種間の段差を滑らかにするだけでなく、児童生徒の学習意欲を高め、次の学校段階での学習を円滑にスタートさせることができるとともに、児童生徒に確かな学力を育成することができると考える。

地図からふりかえろう小学校の社会科

単元名　中学校に向けて

本時の目標　地図を中心としたワークシートによる学習をもとに、小学校の学習内容をふりかえり、中学校の社会科地理分野の学習への接続を図る。

展　開

過程	学習内容・学習活動	指導上の留意点	資料・**小中の接続**	時間
事前	社会の教科書や地図をもとに、ワークシートの①～⑦の（　　）に適切な言葉や都道府県の名称を記入する。			
つかむ	1．小学校と中学校の学習のつながりに気付かせる。	○ワークシートの答え合わせを行い、都道府県は地方に区分できることを知らせる。	**都道府県の名称と位置・地方区分** ワークシート	15
	中学校の社会科学習に向けて、これまでの学習をふりかえり、準備をしよう。			
調べる	2．小学校で学習した日本の農業・水産業・工　業などの産業の概要を簡単な文章で書く。	○ワークシートや教科書を使い日本の産業や地形の概要について簡単な文章にまとめて発表させる。 ○１で学習した地方区分を意識できるよう言葉かけを行う。 ・東北地方や北陸地方では米づくりが盛んなんだね。 ・関東地方では、東京湾岸を中心に工業生産が盛んだね。 日本の工業…… 日本の農業…… 日本の水産業…… 日本の地形……	**日本の産業の概要**	20
生かす	3．教科書を使い、中学校に向けての学習ガイダンスを行う。	○沖縄の民家とインドネシアの住居の写真を比べ、小中の学習のつながりを考えさせる。	教科書 p.78	10

地図からふりかえろう小学校の社会科　ワークシート

名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　番号＿＿＿＿＿＿

※ 1の道の名前を書きましょう。また、（　　）の中に言葉を入れて、小学校で学習したことをまとめましょう。

北海道地方（ほっかいどうちほう）

★北方領土　北海道の北東に続く歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の島々はロシア連邦が不法に占領しています。これらの島々を北方領土といいます。政府は、これらの島を日本に返すよう求めて交しょうを続けています。

小学校で学習したこと

☆教科書５年上 p.38

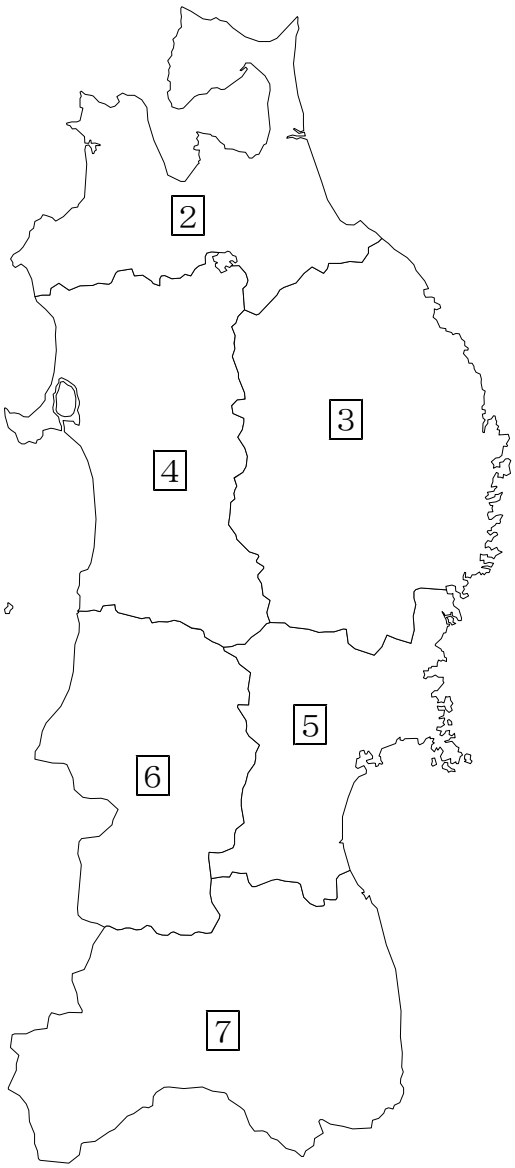
1の（　　道）十勝地方陸別町は、日本で最も寒さの厳しい土地の一つです。十勝地方では、自然を生かした農業が盛んです。また、昔からここで生活をしてきた（　　）の人々は、自分たちの文化のよさを多くの人々に理解してもらうように努力を続けています。

道の名前

1	

▚ 2～7の県の名前を書きましょう。また、（　　）の中に言葉を入れて、小学校で学習したことをまとめましょう。

東北地方（とうほくちほう）



★東北地方は、平成２３年に起きた地震によって、大きな被害を受けました。

県の名前

2		5	
3		6	
4		7	

小学校で学習したこと

☆教科書６年上 p.8
2の（　　県）には、縄文時代の集落跡（　　遺跡）が見つかっています。

☆教科書５年下 p.84
2の（　　県）鰺ヶ沢町では世界遺産（　　）を守る活動が行われています。

☆教科書５年下 p.70
3の（　　県）遠野市では、情報ネットワークを生かした医療が盛んに行われています。

☆教科書５年上 p.44
4の（　　県）横手市は、日本で最も（　　）が多く積もる土地の一つです。

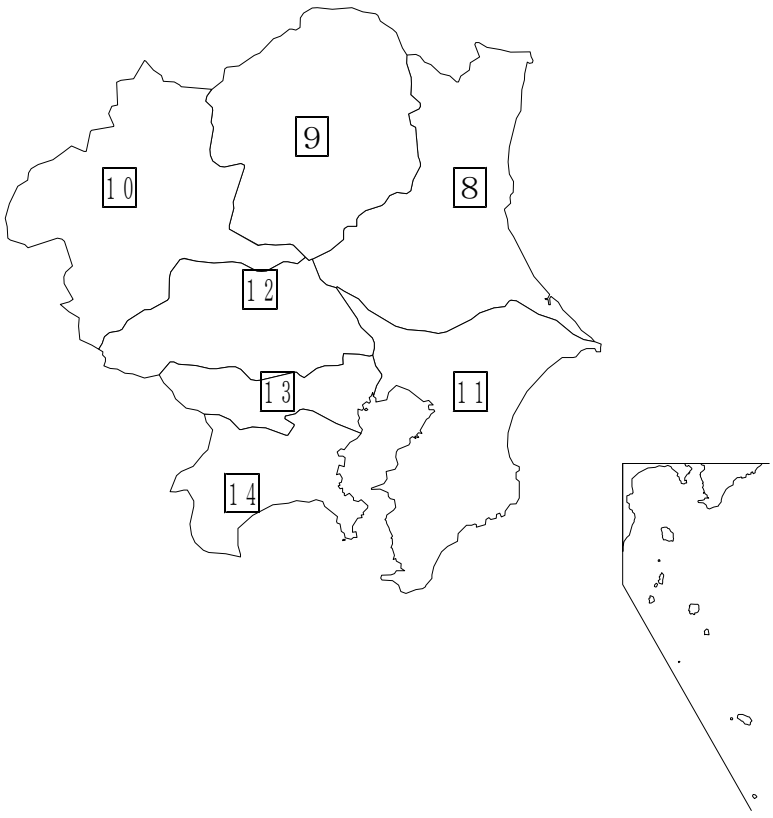
☆教科書３・４年生上 p.4
5の（　　県）仙台市は、城下町として栄え、現在でも東北地方の中心的な都市です。

☆教科書５年上 p.52
6の（　　県）に広がる（　　平野）では、雪解け水を生かした（　　）づくりが盛んです。

☆教科書５年上 p.96
7の（　　県）伊達市がある福島盆地では、阿武隈川沿いの水はけのよい土地を利用して（　　）などの果物を生産しています。

■ 8～14の都県の名前を書きましょう。また、（　　）の中に言葉を入れて、小学校で学習したことをまとめましょう。

関東地方（かんとうちほう）



都県の名前

8		12	
9		13	
10		14	
11			

小学校で学習したこと

☆教科書５年生下 p.44
8の（　　県）神栖市と鹿島市には(　　工業地域)があり、港に面した石油工場がたくさんあります。

☆教科書６年上 p.75
9の（　　県）日光市には、（　　）がまつられた世界遺産(　　)があります。

☆教科書５年生上 p.36
10の（　　県）嬬恋村では、高原の涼しい気候を生かしたキャベツ栽培や温泉を利用した観光にかかわる仕事が盛んです。

☆教科書５年生下 p.22
11の（　　県）にある京葉工業地域では、化学製品の製造が盛んです。

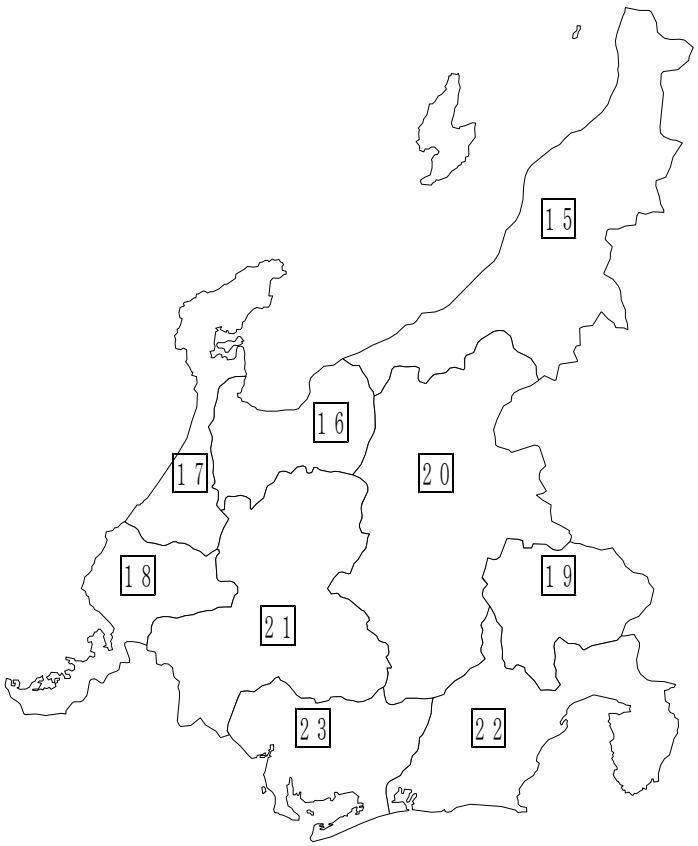
☆教科書５年生下 p.82
12の（　　県）にある狭山丘陵では、トトロの森の保存活動が行われています。

☆教科書５年生下 p.26
13の（　　都）大田区では、高い技術を生かした工業生産が行われています。

☆教科書５年生下 p.30
14の（　　県）横浜市にある（　　港）は、貿易額が大変多い日本の玄関口です。

■ 15～23の県の名前を書きましょう。また、（　　）の中に言葉を入れて、小学校で学習したことをまとめましょう。

中部地方（ちゅうぶちほう）



都県の名前

15		20	
16		21	
17		22	
18		23	
19			

小学校で学習したこと

☆教科書５年生下 p.48
15の（　　県）新潟市は、菓子づくりが盛んです。

☆教科書３・４年生下 p.71
16の（　　県）富山市は、環境と調和したまちづくりを進めています。

☆教科書５年生下 p.64
17の（　　県）金沢市は、情報を活用した医療が進んでいます。

☆教科書５年生下 p.24・p.53
18の（　　県）は、伝統技術を生かした産業が盛んです。

☆教科書６年生上 p.67
19の（　　県）の戦国大名武田氏は、長篠合戦で（　　）に敗れました。

☆教科書３・４年生下 p.84
20の（　　県）茅野市には、滝を使った用水があります。

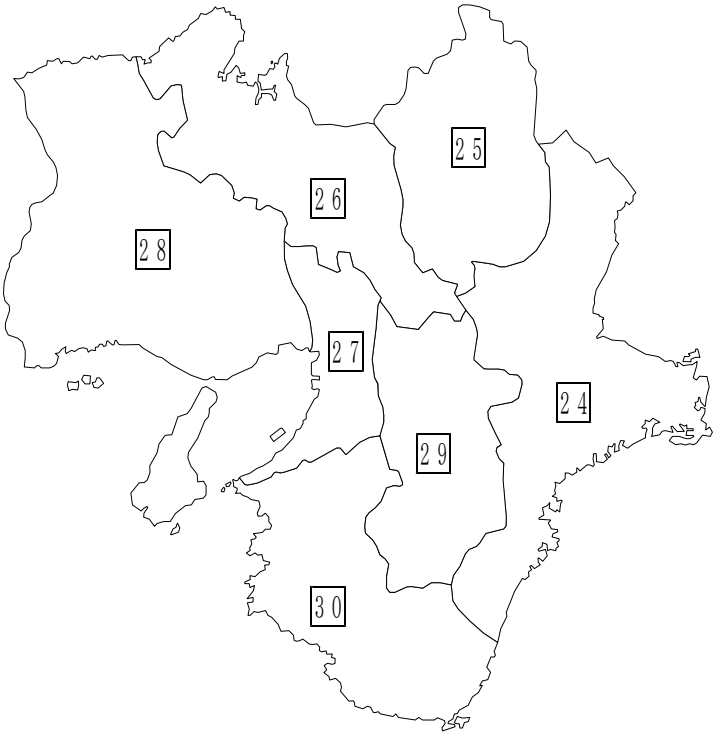
☆教科書５年生上 p.16
21の（　　県）海津市には、堤防で囲まれた土地（　　）があります。

☆教科書５年生上 p.68
22の（　　県）の焼津市や浜名湖では、水産業が盛んです。

☆教科書５年生下 p.6
23の（　　県）豊田市には、多くの（　　）があります。

■ 24～30の府県の名前を書きましょう。また、（　　）の中に言葉を入れて、小学校で学習したことをまとめましょう。

近畿地方（きんきちほう）



府県の名前

24		28	
25		29	
26		30	
27			

小学校で学習したこと

☆教科書５年生下 p.21
24の（　　県）四日市市には、石油化学工場が集まっています。

☆教科書６年生上 p.68
25の（　　県）安土は京都に近いため、織田信長はこの地に城を築きました。

☆教科書５年生下 p.92
26の（　　府）京都市では、森林や鴨川などの（　　）を守る取り組みがなされています。

☆教科書６年生下 p.26
27の（　　府）堺市には、ユニバーサルデザインの公園があります。

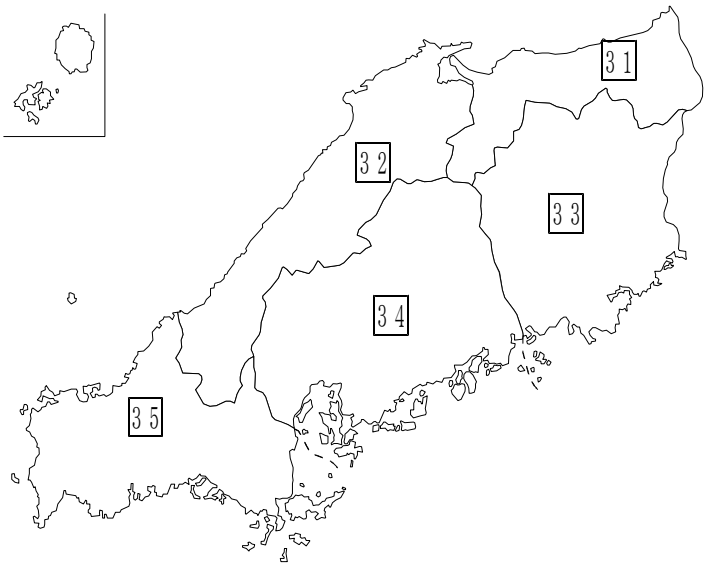
☆教科書３・４年生下 p.116
28の（　　県）では、地形や伝統を生かし、姫路市や神戸市、豊岡市、篠山市などの各都市で人々が生活しています。

☆教科書６年生下 p.26
28の（　　県）には、世界遺産の（　　）や、東大寺の大仏など貴重な文化財が数多くあります。

☆教科書５年生下 p.104
30の（　　県）串本町では、防災意識を高めるひなん訓練が行われています。

■ 31～35の県の名前を書きましょう。また、（　　）の中に言葉を入れて、小学校で学習したことをまとめましょう。

中国・四国地方（ちゅうごく・しこくちほう）



県の名前

31		34	
32		35	
33			

小学校で学習したこと

☆教科書３・４年生上 p.55
31の（　　県）で水あげされた「ぶり」は、仙台のスーパーマーケットにも運ばれます。

☆教科書３・４年生下 p.55
32の（　　県）松江市では、日本のすばらしさを海外に紹介した（　　）の記念館があります。

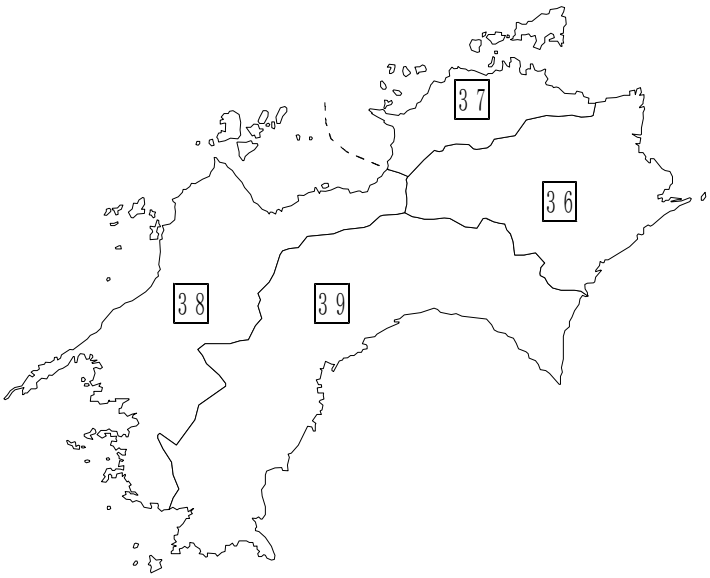
☆教科書５年生下 p.40
33の（　　県）倉敷市には、たくさんの製鉄所があります。

☆教科書６年生下 p.36
34の（　　県）広島市には、1945 年（　　月　　日）に、アメリカ軍によって(　　)が投下されました。毎年、平和記念公園では、平和を願う式典が行われています。

☆教科書３・４年生下 p.4
35の（　　県）山口市では、消防署を中心とした市の職員と地域の人々が協力して、防災に努めています。

■ 36～39の県の名前を書きましょう。また、（　　）の中に言葉を入れて、小学校で学習したことをまとめましょう。

中国・四国地方（ちゅうごく・しこくちほう）



県の名前

36		38	
37		39	

小学校で学習したこと

☆教科書５年生上 p.32

36の（　　県）三好市の東祖谷地区では、人々が山地の地形に合わせて、工夫して生活をしています。

☆教科書６年生上 p.49

37の（　　県）屋島では、1185 年に源義経が率いる源氏と平氏とが戦いました。この戦いに敗れた兵士は、さらに西へと逃げ､壇ノ浦でほろびました。

☆教科書３・４年生上 p.82

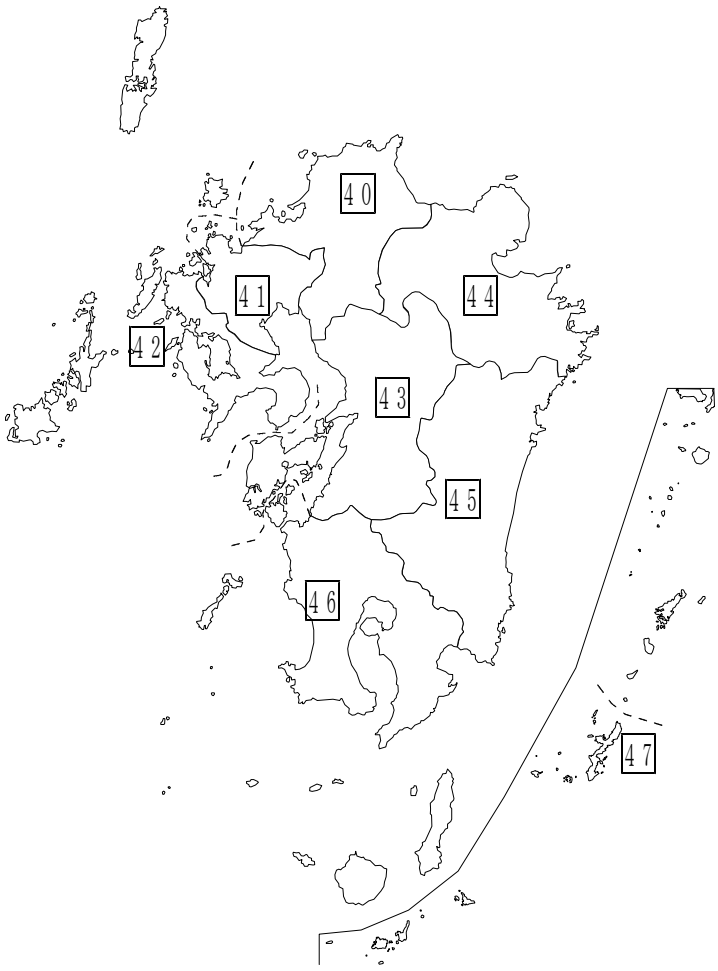
38の（　　県）松山市では、松山城や道後温泉など、残されてきたものを活用したまちづくりが行われています。

☆教科書５年生上 p.23

39の（　　県）高知平野は、冬でもあたたかくビニールハウスを使った野菜づくりが盛んです。

■ 40～47の県の名前を書きましょう。また、（　　）の中に言葉を入れて、小学校で学習したことをまとめましょう。

九州地方（きゅうしゅうちほう）



県の名前

40		44	
41		45	
42		46	
43		47	

小学校で学習したこと

☆教科書３・４年生下 p.36
40の（　　県）久留米市では、筑後川の水をじょう水場できれいにして使っています。

☆教科書３・４年生下 p.112
41の（　　県）の有明海では、のりの養殖が盛んです。

☆教科書６年生上 p.137
42の（　　県）長崎市には、1945 年（　　月　　日）に、（　　）が投下されました。

☆教科書３・４年生上 p.54
43の（　　県）で生産されたみかんは、仙台のスーパーマーケットにも運ばれています。

☆教科書３・４年生下 p.50
44の（　　県）日田市は、水がきれいなことで有名です。

☆教科書５年生上 p.92
45の（　　県）宮崎平野は、きゅうりなどの野菜生産が盛んです。

☆教科書５年生上 p.13
46の（　　県）には、日本有数の火山（　　）があります。

☆教科書５年生上 p.24
46の（　　県）は、一年を通じてあたたかい地域です。また、（　　）が多く来る地域でもあります。

小・中学校接続期プログラム（社会科・歴史的分野）指導計画

１　小単元名　「中学校に向けて」（歴史編）

２　本時の目標

小単元「日本の歴史」の既習内容から更に厳選した人物を柱に年表に位置付け、時代の流れを総復習することで、中学校での歴史的分野の学習への意欲を高める。

３　展開

課程	主な学習内容　　・学習活動	◇指導上の留意点	小中の接続	時間
事前	６年上の教科書をもとに、ワークシート①（年表）の（　　）に下部枠内から適切な語句や人物名を選び記入する。			
つかむ	**１　小学校と中学校の学習のつながりに気付かせる。** ・人物名と歴史・文化面での業績 ・年表の読み方 中学校の社会科学習に向けて、これまでの学習をふりかえり、準備をしよう。 ・学習の見通しをもつこと	◇ワークシート①（年表）の答え合わせを行い、人物を柱にして歴史の流れをふりかえる。（解答を配付してもよい）	歴史上人物と時代の流れ	5
調べる	**２　完成した年表を見て、歴史全般の流れについて気付いたことを話し合う。** ・時代の表し方には様々な表現があること（大仏を造営は８世紀、古代、貴族の世の中、奈良時代） ・原始・古代→中世→近世→近代→現代 ・国の成り立ち→貴族の世→武士の世→明治からの世→新しい日本	◇中学校の社会科（歴史的分野）教科書の年表を提示し、「○世紀」「古代・中世　等」という表記や小学校で学習した人物が柱（基本）として位置付いていることを確認することで、中学での学習につながっていることを確認する。	時代の様々な表し方 政治の中心にいた人物の立場	10
	３　ワークシート②で時代名と重要人物を確認する。 ・時代名（縄文～平成）と順序 ・指導要領解説掲載の 42 名の人物名 ・上記の人物が各時代の柱となること	◇時代名に関しては、順序を想起させた後、繰り返し唱える練習をさせる。	時代名と順序 歴史上重要人物名（４２名）	10
	４　ワークシート③で古代（古墳・奈良・平安時代）の区分で復習をする。 ・ワークシートを活用し、古代は豪族から貴族中心の世の中になっていったことを理解すること ・年表が学習の柱となっていること	◇教科書内には重要語句としてのゴシック体表記はないため、ワークシートの「教○ページ」をヒントにマーキングさせ振り返ることで想起させる。	古代は豪族から貴族中心の世の中だったこと	10
まとめる	**５　教科書p. 79から中学校での歴史学習の見通しをもつ。** ・小学校での内容が柱となり、時代ごとに詳しく学習すること ・縄文時代以前の歴史も学習すること ・世界の歴史についても学習すること	◇年表を中心に繰り返し復習することで歴史の流れがつかめること、そのことが中学での学習の基本になることを確認し、学習意欲をもたせる。	中学での歴史学習の見通し	10

※　卒業前（3 月）の社会科の授業に位置付ける。本時でワークシート①を中心に復習をじっくり行う場合、ワークシート②及び③の使い方を確認した上で家庭学習や春休みの課題とする方法もある。

中学校に向けて　春休み　これだけは見直そう！【歴史編】②

☆　日本の時代名は特に大切です。ぜったいに復習しておぼえましょう！

縄文（じょうもん）　弥生（やよい）　古墳（こふん）　奈良（なら）　平安（へいあん）　鎌倉（かまくら）　室町（むろまち）　安土桃山（あづちももやま）
江戸（えど）　明治（めいじ）　大正（たいしょう）　昭和（しょうわ）　平成（へいせい）

☆　小学校学習指導要領（ようりょう）（社会科編）解説に示されている人物です。

いつの時代にどんなことをしたか言えるとよいですね。

《小学校の歴史学習で大切な人物４２名》

卑弥呼（ひみこ）	聖徳太子（しょうとくたいし）	小野妹子（おのいもこ）	中大兄皇子（なかのおおえのおうじ）
中臣鎌足（なかとみのかまたり）	聖武天皇（しょうむてんのう）	行基（ぎょうき）	鑑真（がんじん）
藤原道長（ふじわらのみちなが）	紫式部（むらさきしきぶ）	清少納言（せいしょうなごん）	平清盛（たいらのきよもり）
源頼朝（みなもとのよりとも）	源義経（みなもとのよしつね）	北条時宗（ほうじょうときむね）	足利義満（あしかがよしみつ）
足利義政（あしかがよしまさ）	雪舟（せっしゅう）	ザビエル	織田信長（おだのぶなが）
豊臣秀吉（とよとみひでよし）	徳川家康（とくがわいえやす）	徳川家光（とくがわいえみつ）	近松門左衛門（ちかまつもんざえもん）
歌川広重（うたがわひろしげ）	本居宣長（もとおりのりなが）	杉田玄白（すぎたげんぱく）	伊能忠敬（いのうただたか）
ペリー	勝海舟（かつかいしゅう）	西郷隆盛（さいごうたかもり）	大久保利通（おおくぼとしみち）
木戸孝允（きどたかよし）	明治天皇（めいじてんのう）	福沢諭吉（ふくざわゆきち）	大隈重信（おおくましげのぶ）
板垣退助（いたがきたいすけ）	伊藤博文（いとうひろぶみ）	陸奥宗光（むつむねみつ）	東郷平八郎（とうごうへいはちろう）
小村寿太郎（こむらじゅたろう）	野口英世（のぐちひでよ）		

※年表問題であつかった人物には下線が引いてあります。

《学習のポイント》

①教科書の年表を確認しよう（時代名）。

②自分で年表を書いてみよう（時代名）。

③人名をかくして、業績（やったこと）を言ってみよう。

中学校に向けて　春休み　これだけは見直そう！【歴史編】③
《事例》 古墳時代～平安時代【古代】

世紀	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
原始	古代												中世
時代	国の成り立ち		**貴族の世の中**										**武士**の世の中
	弥生				古墳			奈良	平安				鎌倉
日本のおもなできごと	○各地に小さな国ができる		○邪馬台国の**卑弥呼**が中国に使いを送る		○大和朝廷の国土統一が進む		○天皇中心の国づくりを行う ○**聖徳太子**が遣隋使を派遣	○**聖武天皇**が大仏を造る	○**藤原道長**が貴族の政治を行う				○元がせめてくる（元寇） ○**源頼朝**が鎌倉幕府を開く

☆　次の問題に合うことばや人名を答えましょう。
（答えをかくして考え、終わったら答え合わせをしましょう。）

【古墳時代】
1.この時代につくられた王や豪族（ごうぞく）の巨大な墓を何と言いますか？（教 p.20）

2. 5～6 世紀ごろ、九州地方から東北地方南部の豪族や王たちを従えるようになった政府の名は？（教 p.23）

3. 聖徳太子が役人の心構えを示すために定めた憲法は？（教 p.28）

4. 聖徳太子が建てた世界最古の木造建築の寺は？（教 p.26）

5. 聖徳太子の死後に勢力を強めていた蘇我（そが）氏をたおした人物は？（教 p.30）

【奈良時代】
6. 全国の国分寺の中心で、大仏が置かれている寺は？（教 p.33）

7. 聖武天皇の命令を受けて大仏づくりに協力した僧は？（教 p.34）

8. 聖武天皇が日本に正式の仏教を広めるために、中国から招いたすぐれた僧は？（教 p.37）

【平安時代】
9. 貴族がくらしていた大きなやしきを何造（つくり）と言いますか？（教 p.39）

10. 漢字をくずしたり、漢字の一部を省略したりしてつくられた日本の文字を何と言いますか？（教 p.40）

《答え》

【古墳時代】
1. **古墳**

2. **大和朝廷**

3. **十七条の憲法**

4. **法隆寺**

5. **中大兄皇子と中臣鎌足**

【奈良時代】
6. **東大寺**

7. **行基**

8. **鑑真**

【平安時代】
9. **寝殿造（しんでんづくり）**

10. **かな文字**

☆　次の問題に合うことばや人名を答えましょう。
（答えをかくして考え、終わったら答え合わせをしましょう。）

中学校に向けて　春休み　これだけは見直そう！【歴史編】①

☆年表の（　　）の中に下の［　　］から時代名や人物名を選んで、年表を完成させよう！

世紀	紀元前	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21

時代	原始	古代								中世				近世						近代				現代	
	国の成り立ち	（　貴族　）の世の中								（　武士　）の世の中										明治からの世の中				新しい日本	
	縄文	（弥生）			古墳				（飛鳥）	平安		（鎌倉）		室町		安土桃山		（江戸）			明治			大正	（昭和）		平成

日本の主な人物とできごと

○狩りや漁のくらしが行われる

○邪馬台国の（卑弥呼）が中国に使いを送る
○各地に小さなくにができる
○米づくりが大陸から伝わる

○（聖徳太子）が天皇中心の国づくりを行う
○（聖徳太子）が遣隋使を派遣
○大和朝廷の国土統一が進む

○（聖武天皇）が東大寺に大仏を造る

○（藤原道長）が貴族の政治を行う

○元がせめてくる（元寇）
○（源頼朝）が鎌倉幕府を開く

○（足利義満）が金閣を建てる

○（豊臣秀吉）が全国を統一する
○（織田信長）が室町幕府をほろぼす

○（徳川家光）が鎖国を完成させる
○（徳川家康）が江戸幕府を開く

○（ペリー）が黒船で来航し、開国をせまる

○（陸奥宗光）、小村寿太郎による条約改正が行われる
○（板垣退助）たちが木戸孝允たちによる明治維新の自由民権運動をおこす
○（西郷隆盛）、大久保利通、（伊藤博文）たちにより憲法が発布される

○普通選挙制度が定められる

○広島・長崎に原子爆弾が落とされる
○太平洋戦争がおこる

○結ばれ、日本が国際復帰を果たす
○サンフランシスコ平和条約が

日本の主な文化・人物

○縄文土器

○弥生土器

○法隆寺が建てられる
○仏教が大陸から伝わる
○漢字が大陸から伝わる

○（清少納言）が「枕草子」をあらわす
○（紫式部）が「源氏物語」をあらわす
○かな文字が広まる

○キリスト教が伝わる
○（雪舟）が水墨画を広める

○（近松門左衛門）による歌舞伎や浄瑠璃の上演
○（歌川広重）が浮世絵を広める
○（杉田玄白）らによる蘭学
○（伊能忠敬）の日本地図完成

○文明開化

○（福沢諭吉）が「学問のすすめ」あらわす
○（野口英世）が黄熱病の研究を進める

武士　貴族　江戸　昭和　鎌倉　奈良　弥生　板垣退助　徳川家光　卑弥呼　聖徳太子　足利義満　豊臣秀吉　織田信長　徳川家康　藤原道長　源頼朝
紫式部　清少納言　雪舟　近松門左衛門　歌川広重　杉田玄白　伊能忠敬　福沢諭吉　野口英世　陸奥宗光　伊藤博文　西郷隆盛　ペリー

中学校に向けて　春休み　これだけは見直そう！【歴史編】①

☆年表の（　　）の中に下の［　　］から時代名や人物名を選んで、年表を完成させよう！

世紀	紀元前	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
時代	原始	古代												中世			近世			近代		現代
	国の成り立ち	（　　）の世の中												（　　）の世の中						明治からの世の中		新しい日本
	縄文	（　　）			古墳				（　）		平安			（　　）		室町	安土桃山		（　　）	明治		大正	（　　）	平成
日本の主な人物とできごと	○狩りや漁のくらしが行われる	○（　　）が ○各地に小さなくにができる ○米づくりが大陸から伝わる		○邪馬台国の（　　）中国に使いを送る	○（　　）天皇中心の国づくりを行う ○大和朝廷の国土統一が進む				○（　　）が東大寺に大仏を造る		○（　　）が貴族の政治を行う			○元がせめてくる（元寇） ○（　　）が鎌倉幕府を開く		○（　　）が金閣を建てる	○（　　）が全国を統一する ○（　　）が室町幕府をほろぼす	○（　　）が鎖国を完成させる ○（　　）が江戸幕府を開く	○（　　）が黒船で来航し、開国をせまる	○（　　）の日本地図完成 ○（　　）らによる蘭学広める ○（　　）が浮世絵を歌舞伎や浄瑠璃の上演による	○（　　）条約改正が行われる ○（　　）、小村寿太郎による ○憲法が発布される ○（　　）たちにより 自由民権運動をおこす ○（　　）たちが 木戸孝允たちによる明治維新 ○（　　）、大久保利通、	○普通選挙制度が定められる	○広島・長崎に原子爆弾が落とされる ○太平洋戦争がおこる	○結ばれ、日本が国際復帰を果たす ○サンフランシスコ平和条約が
日本の主な文化・人物	○縄文土器	○弥生土器			○法隆寺が建てられる ○仏教が大陸から伝わる ○漢字が大陸から伝わる						○（　　）が「枕草子」をあらわす ○（　　）が「源氏物語」をあらわす ○かな文字が広まる					○（　　）が水墨画を広める	○キリスト教が伝わる			○（　　）研究を進める ○（　　）が黄熱病の「学問のすすめ」あらわす ○（　　）が	○文明開化			

武士　貴族　江戸　昭和　鎌倉　奈良　弥生　板垣退助　徳川家光　卑弥呼　聖徳太子　足利義満　豊臣秀吉　織田信長　徳川家康　藤原道長　源頼朝
紫式部　清少納言　雪舟　近松門左衛門　歌川広重　杉田玄白　伊能忠敬　福沢諭吉　野口英世　陸奥宗光　伊藤博文　西郷隆盛　ペリー

小・中学校接続プログラム　地理的分野指導計画

1　単元　　世界のさまざまな地域

2　小単元　　世界のすがた

3　指導計画

時間	○学習内容　　・学習活動	・指導上の留意点	・小中の接続
1	**社会科オリエンテーション** ○国名当てクイズ ・各自に国旗の形で示された国について、地図帳で位置や首都名を確認する。 ・白地図に着色する。 ・得られた情報をもとに、クイズを作成する。 ・グループ内で自分の作成したクイズを出し合う。	・楽しい雰囲気で行えるようにする ・東京書籍の表紙裏の「この国はどこかな」の写真資料も活用して良いことを伝え、地図以外に深みをもたせる。	・小学校５年生上　単元名「わたしたちの国土」 ・小学校６年生下　単元名「世界の中の日本」
2	**地球の姿を見てみよう** ○六大陸と三大洋 ・小学校で既習事項である六大陸と三大洋について白地図を使い確認する。 ・六大陸を大きい順に並べてみる。 ・どうすれば、本当の大きさがわかるのか、考えてみる。 ○地球儀から地球の姿を知る ・地球儀で六大陸の大きさを比べてみる。 ・なぜ、世界地図と地球儀では違いが出たのかを考えてみる。 ・前時で扱った国の位置を、六大陸と三大洋、方位を使って表してみる。〈世界地図〉	・わからない場合は教科書の表紙裏を参考にするよう助言する。 ・地球が丸いため、平面の地図ではわからないことを意識させる。 ・既習事項の八方位を意識させる。	・小学校５年生上　単元名「わたしたちの国土」
3	世界の国々と地域区分 ○世界の独立国と地域 ・現代の世界が六つの州で分けられていることを確認する。 ・アジア州がさらに細分化されていることを確認する。 ・なぜ、アジア州のみ細分化されているかを、人口や気候の面から考えてみる。 ・国として成り立つ要素を、考えてみる。	・既習事項である六大陸とどこが違うのかについても考えさせる。 ・東アジアと西アジアの様子を表した写真資料を用い、気候の変化に考えが及ぶよう図る。	・小学校５年生上　単元名「わたしたちの国土」

１年社会科地理プリント　０１（アジア編）　　（学習日　　月　　日）

国名当てクイズ

１年　　組　　番　　氏名

（今日のねらい）　　世界にあるさまざまな国の名前や位置を理解しよう

（やり方）

1　国旗で示された国の位置を地図帳で調べ、下の白地図に着色してみよう。
（同じ色にならないように、色分けしてみよう）

2　着色した国のことを、地図帳で調べ、表の空欄を埋めてみよう。
（「知っていること」には、書かれている内容以外のことも書いてみよう）

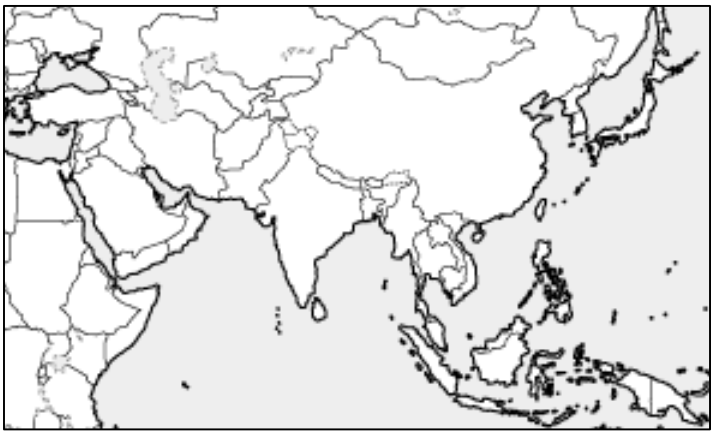
3　調べたことを使って、国名当てクイズをつくってみよう。

4　グループ内で、作成したクイズを出し合い、国名を当ててみよう。

【パターンＡ】アジア州

国旗					
国名					
首都					
知っていること	・キムチが有名	・石油の生産量が多い	・エビの養殖がさかん	・漢字	・カレーが有名

〈白地図ーアジア〉※着色してみよう



※回答者へのヒントは、上の表の内容や、
自分で考えたもので作成すること。

〈クイズ作成らん〉（例）

(1)クイズの解答〔　タ　イ　　〕
(2)回答者へのヒント
【ヒント１】
（例）日本よりも暑い国
【ヒント２】
（例）となりにはミャンマーやカンボジア
【ヒント３】
（例）首都〔バンコク〕

１年社会科地理プリント　０１（ヨーロッパ編）　　（学習日　　月　　日）

国名当てクイズ

１年　　組　　番　　氏名

（今日のねらい）　世界にあるさまざまな国の名前や位置を理解しよう

（やり方）

1　国旗で示された国の位置を地図帳で調べ、下の白地図に着色してみよう。
（同じ色にならないように、色分けしてみよう）

2　着色した国のことを、地図帳で調べ、表の空欄を埋めてみよう。
（「知っていること」には、書かれている内容以外のことも書いてみよう）

3　調べたことを使って、国名当てクイズをつくってみよう。

4　グループ内で、作成したクイズを出し合い、国名を当ててみよう。

【パターンＢ】ヨーロッパ州

国旗					
国名					
首都					
知っていること	・ビールとウィンナーが有名	・世界三大料理の一つ	・ノーベル賞の授賞式が行われる	・母国語が世界共通語	・闘牛で有名

〈白地図－ヨーロッパ〉※着色してみよう

〈クイズ作成らん〉（例）

(1)クイズの解答〔　スペイン　〕

(2)回答者へのヒント

【ヒント１】

（例）三方が海に囲まれている国

【ヒント２】

（例）アフリカ大陸に近い国

【ヒント３】

（例）食べ物ではオレンジやパエリアが有名

※回答者へのヒントは、上の表の内容や、自分で考えたもので作成すること。

１年社会科地理プリント　０２　　（学習日　　月　　日）

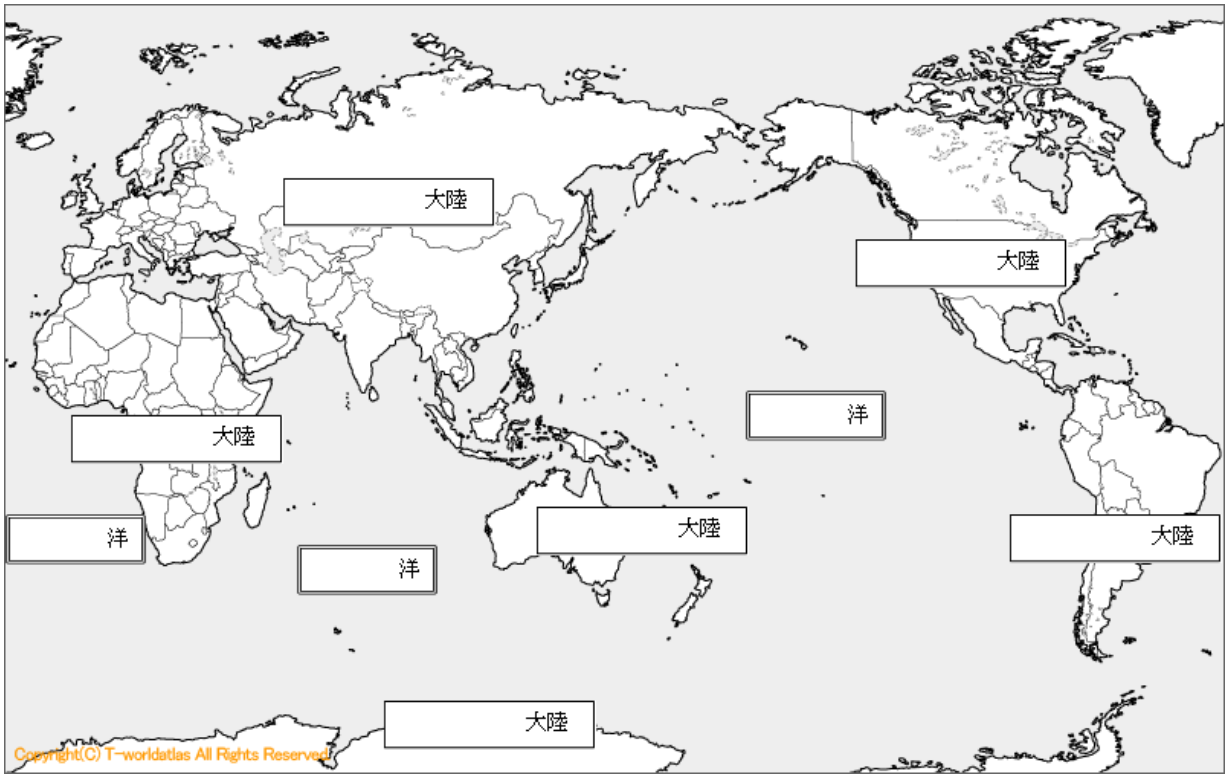
地球のすがた

１年　　組　　番　　氏名

（今日のねらい）　　地球のすがたを、大陸や大洋の大きさから調べてみよう

１　下の白地図に、六大陸と三大洋を書き入れてみよう。

〈白地図－世界地図〉



２　六大陸を大きい順に下の表に書き入れてみよう。

「世界地図」でみた六大陸の大きさ　　「　　」でみた六大陸の大きさ

１位	大陸
２位	大陸
３位	大陸
４位	大陸
５位	大陸
６位	大陸

１位	大陸
２位	大陸
３位	大陸
４位	大陸
５位	大陸
６位	大陸

３　「世界地図」と「　　」では、どちらが正しいのだろう？　　正しいのは「　　」

〈チャレンジ〉　なぜ、「世界地図」と「　　」では違いが出たのかな？考えてみよう。

１年社会科地理プリント　０３　　（学習日　　月　　日）

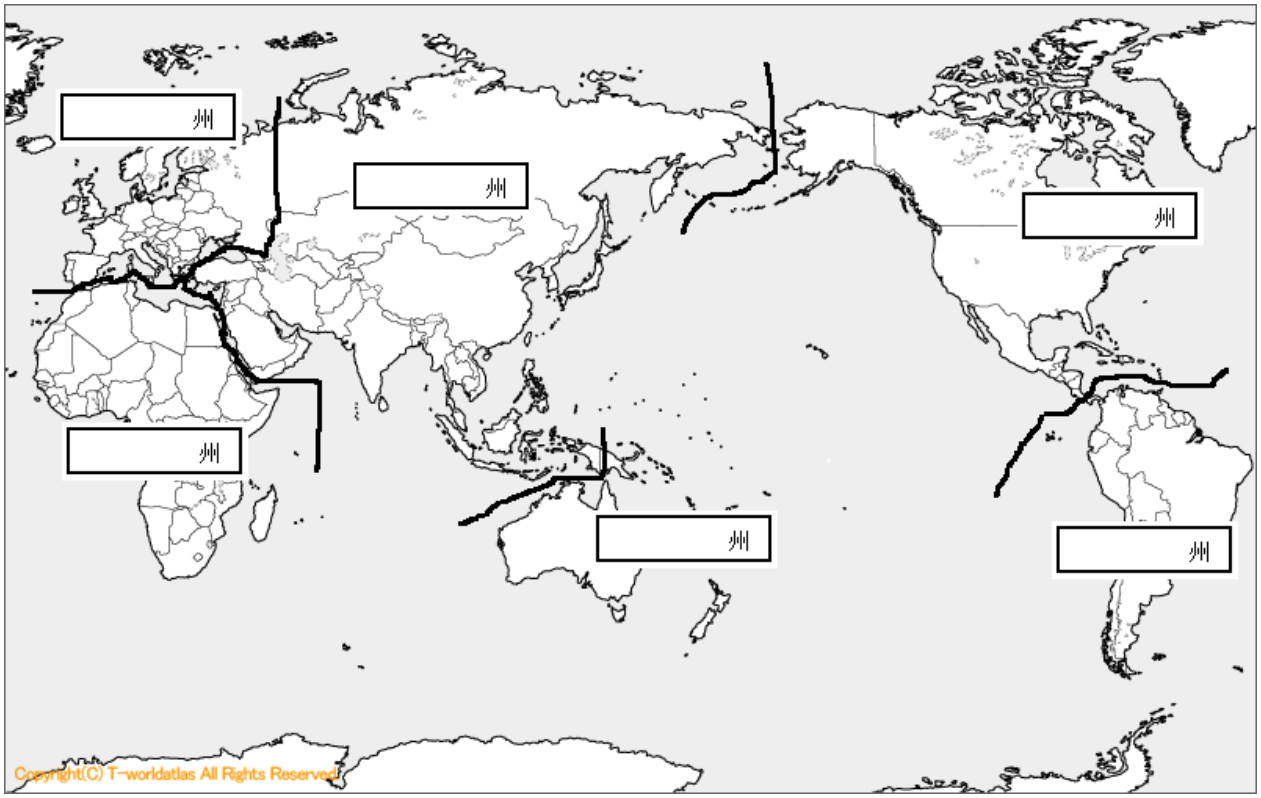
世界の国々と地域区分

１年　　組　　番　　氏名

（今日のねらい）　　世界がどのように分けられているのかを知ろう

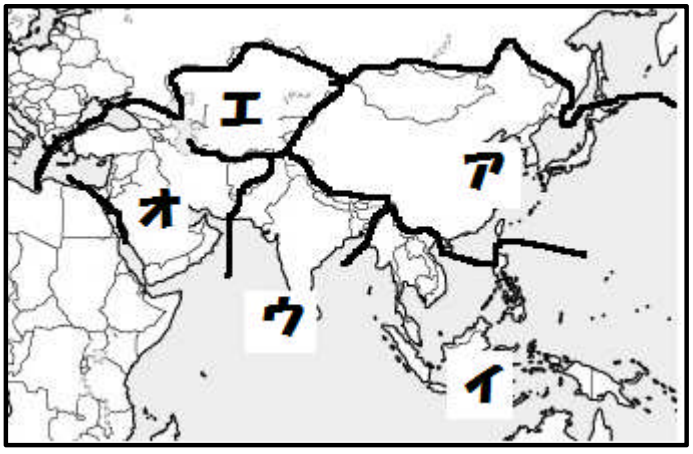
１　下の白地図の空欄に、州名を書き入れてみよう。

〈白地図－世界地図〉



２　下のアジアの白地図中の **ア ～ オ** にあてはまる地域区分を教科書から調べ、書いてみよう。

〈白地図－アジア〉



ア　（　　アジア　）
イ　（　　アジア　）
ウ　（　　アジア　）
エ　（　　アジア　）
オ　（　　アジア　）

小・中学校接続プログラム　歴史的分野指導計画

１　単元名　歴史のとらえ方

２　指導計画

時間	○学習内容　・学習活動	・指導上の留意点	資料
1	**時代区分のあらわし方** ○歴史の学習内容の概観 ・東書の教科書 P6~7 にある「歴史の流れ」のイラストを使い、どんな人物や文化財があるか、わかることを発表する。 ○時代の大きな区分 ・時代の大きな区分（原始・古代、中世、近世、近代、現代）について理解する。 ○西暦年、世紀、年号、時代区分 ・教師からの説明をもとに、時代や年代のあらわし方について理解する。 ・年表を使って様々な時代や年代のあらわし方を繰り返し学習する。	・小学校で学習した人物について想起さる。 ・「歴史の流れ」のイラストの地面の色から、時代の大きな区分に気付かせる。 ・時代の大きな区分が、いつ、どんな人たちの活躍によって変わるのか着目させる。	・東京書籍教科書 P6,7
2 3 4	**小学校の歴史の復習と、中学校の学習の概観** ○歴史上の人物、出来事、文化財のカードづくり ・小学校で学習した歴史上の人物や出来事、文化財について、３つ程度のキーワード（いつの時代か、生没年、どんなことをやったか、など）を、小グループで分担し、カードにまとめる。	聖徳太子（574～622）【　　】時代 ○やったこと ・歴史上の人物については、小学校で使用した資料集に写真のシールが付いているので、それを活用する。 ・カードの中には小学校で学習しない内容も含め（例：第一次世界大戦など）、中学校の学習内容についてもとらえさせる。 ・カードは時代の大きな区分（原始・古代、中世、近世、近代、現代）ごとに色分けする。	・小学校の教科書 ・小学校の資料集
5	年表にまとめよう ○年表でのまとめ ・拡大した年表に、小グループでカードを時代順にはっていく。 ・年表には時代、世紀、西暦年など、も記入する。	・小学校の学習の復習とともに、中学校での学習について大観させる。 ・カードはセロテープなどではり、取り外しや並び替えができるようにする。	・年表

歴史ワークシート『歴史の流れ』

めあて　①　日本の歴史の大まかな流れをつかもう。
　　②　桶川に関連する歴史は、どの時代と関連するか調べてみよう。

課題１　別紙の年表の世紀欄に、西暦を見ながら何世紀か数字を記入しよう。

西暦年とは？　：　ヨーロッパで考え出された年代の表し方
→　イエス・キリストが生まれた年　＝　（　　）年
→　イエス・キリストが生まれる前　＝　（　　）
→　イエス・キリストが生まれた後　＝　（　　）

世紀とは？　：　西暦年の（　　）年を単位にして年代を区切る表し方
→　紀元後　　１年～１００年　＝　（　　）世紀
　　１０１年～２００年　＝　（　　）世紀
　現在　　２００５年　＝　（　　）世紀

課題２　次の時代名カードを切り取り、その時代の始まった時期（年代）を調べ、別紙の年表の時代欄に貼り付けよう。

縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉
室町	安土桃山	江戸	明治	大正	昭和	平成

課題３　次の人物カードの各項目の空欄を教科書や資料集を調べて、カードに書き込もう。また、その人物が活躍した時代や時期を調べ、カードを切り取り、別紙の年表の主な出来事の欄に貼り付けよう。

聖徳太子（574~622）【　　】時代
〇主にやったこと

聖武天皇（701~756）【　　】時代
〇主にやったこと

藤原道長（966~1027）【　　】時代
〇主にやったこと

源　頼朝（1147~1199）【　　】時代
〇主にやったこと

足利義満（1358~1408）【　　】時代
〇主にやったこと

豊臣秀吉（1537~1598）【　　】時代
〇主にやったこと

徳川家康（1542~1616）【　　】時代

○主にやったこと

ペリー　（1794~1858）【　　】時代

○主にやったこと

伊藤博文（1841~1909）【　　】時代

○主にやったこと

野口英世（1876~1928）【　　】時代

○主にやったこと

（　　~　　）【　　】時代

○主にやったこと

（　　~　　）【　　】時代

○主にやったこと

課題４　次の桶川市の歴史カードの各項目の空欄を教科書や資料集を調べて、カードに書き込もう。また、そのカードの遺跡や出来事にあてはまる時代や時期を調べ、カードを切り取り、別紙の年表の主な出来事の欄に貼り付けよう。

後谷遺跡【縄文】時代

○場所　　桶川市赤堀
○主な特徴
　木の実　　動物の骨
　縄文土器　　土偶

熊野神社古墳【古墳】時代

○場所　　桶川市川田谷
○主な特徴
　円墳
　土器　メノウなどの勾玉

川辺の板石塔婆【鎌倉】時代

文永８年（１２７１年）
○場所　　桶川市篠津
○主な特徴
　高さ　３１０ｃｍ
　有力な人物の供養塔

加納城址【鎌倉~室町】時代

○場所　　桶川市加納
○主な特徴
　総面積 **42,899** ㎡
　重要な道路の交叉点に築城

備前堤【江戸】時代

○場所　　桶川市小針領家
○主な特徴
　伊奈備前守忠次（代官頭）
　赤堀川に長さ６００ｍの堤

桶川宿本陣【江戸】時代

○場所　　桶川市寿
○主な特徴
　本陣１軒　脇本陣２軒
　皇女和宮降嫁の際宿泊

紅花商人寄進石灯籠【江戸】時代

安政４年（１８５７年）
○場所　　桶川市寿
○主な特徴
　桶川宿の紅花商人
　桶川臙脂（えんじ）

【　　】時代

○場所　　桶川市
○主な特徴

【　　】時代

○場所　　桶川市
○主な特徴

歴史ワークシート『歴史の流れ』（　／　）　第1学年　組　番 氏名

西暦	世紀	時代	主　な　出　来　事	桶川の歴史
1000				
紀元前				
紀元後				
100				
200				
300				
400				
500				
600				
700				
800				
900				

西暦	世紀	時代	主　な　出　来　事	桶川の歴史
1000				
1100				
1200				
1300				
1400				
1500				
1600				
1700				
1800				
1900				
2000				

中・高等学校接続プログラム「世界史Ａ」指導計画

１　単　　元　　世界史へのいざない

２　授業計画　　１時間目　自然環境と歴史・日本列島の中の世界の歴史
　　２時間目　日本列島の中の世界の歴史

	学習内容・活動	指導上の留意点	資料・中高の接続
	＜導入＞ ワークシート ○世界地図の描画 ○世界の諸地域・主要国の位置 ○日本史の時代の並べ替え 答え合わせ	・授業の趣旨を説明して，和やかな雰囲気で進める。 ・周りの席の生徒と積極的に相談を認める。	ワークシート **世界の様々な地域（中）** **歴史のとらえ方（中）**
	＜展開＞ 「外国からやってきた人々」 ～鑑真・ザビエル・ペリー～ ○　課題① （１）この人物はどこから日本へやってきたのか？ （２）この人物はいつやってきたのか？日本はどのような時代だったか？ （３）この人物は何のために日本へやってきたのか？ （４）この人物は日本にどのような影響を与えたか？ ○　課題② （１）自分が記入した人物以外の人物について記入しよう。 （２）この人物たちが日本に来た時代を年表に当てはめてみよう。	・それぞれの人物の担当を決めて，まずは１人の人物について記入をする。 ・机間巡視して適宜アドバイスを加える。 ・それぞれ異なる人物について記入した生徒をバランスよく混ぜたグループを作らせる。	ワークシート 中学時代の教科書 **古代までの日本（中）** **近世までの日本（中）** **近代の日本と世界（中）** **日本列島の中の世界** **（高）** ワークシート

	（３）この人物たちが日本へやってきた背景を考えよう。 鑑真：日本と交流が盛んだった。 中国は仏教が盛んだった。 ザビエル：キリスト教をアジアに広める必要があった。 宗教改革の影響があった。 ペリー：アジア諸国と貿易したかった。 欧米諸国がアジアへ進出していた。	・期間巡視して適宜アドバイスを加える。	
	＜まとめ＞ ワークシートの発表 発表について補足説明 ワークシートの提出	・時間を見ながらそれぞれのグループにできるだけ発表させる。 ・提出されたワークシートの内容を評価し，次回以降返却する。	ワークシート

世界史ワークシート

世界史へのいざない

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

問１　世界地図を何も見ないで描いてみよう。

～やり方～

１　描いた世界地図を次の地域で分けてみよう。

　　アジア　　ヨーロッパ　　アフリカ　　北アメリカ　　南アメリカ　　オセアニア

２　描いた世界地図に次の海洋名を記してみよう。

　　太平洋　　大西洋　　インド洋

３　次の国の大体の位置を描いた世界地図に記してみよう。

　　中国　　インド　　アメリカ合衆国　　フランス　　イギリス　　スペイン　　ブラジル　　エジプト

問２　次の年表を完成させよう。

～やり方～

１　次の時代を並べ替える。

江戸時代　　平安時代　　室町時代　　飛鳥時代　　縄文時代　　安土・桃山時代

明治時代　　弥生時代　　奈良時代　　古墳時代　　旧石器時代

大正時代　　鎌倉時代　　昭和時代

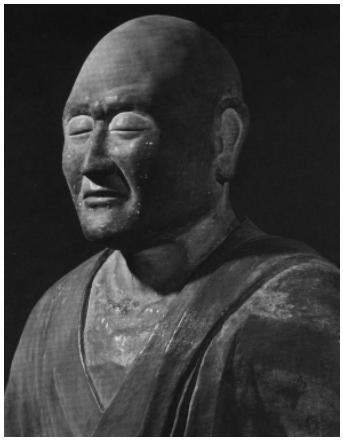
２　自分で直線や点線などで時代を区切る。

３　わかる範囲で主なできごとや，その時代の特徴的なもの（人物・道具・建物・文化・社会の様子など）を記入する。（相談可）

時代	主なできごと	時代の特徴

時代	主なできごと	時代の特徴
平成時代	1989　冷戦終結　　1990　湾岸戦争 1995　阪神・淡路大震災 2001　アメリカ同時多発テロ 2011　東日本大震災	

問３　日本へやってきた人々について



鑑真

ザビエル

ペリー

１　３人のうちから一人選び，上の肖像画に○を囲みなさい。

２　この人物はどこから日本へやってきたのか？

３　この人物はいつ日本へやってきたのか？また，そのころの日本の様子はどのようであったか？

４　この人物は何のために日本へやってきたのか？

５　この人物が日本に与えた影響や，もたらしたものは何か考えてみよう。

問４　他の人のまとめを参考に記入しよう。

問５　年表のこれらの人物が活躍した時代に名前を書こう。

問６　彼らが日本に来た時代背景はそれぞれどのようなものだったのか考えてみよう。
　　例）その国の様子，そのときの世界の様子など

鑑真

ザビエル

ペリー

memo

中・高等学校接続プログラム「現代社会」指導計画

１．単　　元

第１部　わたしたちの生きる社会

テーマ１　地球環境と資源・エネルギー

２．授業計画（計４時間）

１時間目　　「2013 年 10 大ニュース」を予想する　　←本時

２時間目　　１．地球環境問題①

３時間目　　１．地球環境問題②

４時間目　　２．資源・エネルギー問題

３．本時のねらい

・高等学校「現代社会」で学習する内容と、中学校「公民」で学習した内容がつながっていることを、理解させる。

・世の中で報道されるニュースと、高等学校「現代社会」で学習する内容が、つながっていることを、実感させる。

４．本時の展開

	学習内容・学習活動	指導上の留意点	資料
導入 10 分	○2013 年、1 年間に起きた出来事・ニュースを、できるだけ書き出す。 ○生徒から解答を吸い上げ、共有する。	・授業の趣旨を説明し、後にグループ学習があることまで伝える。 ・まずは、資料なしで考えさせたい。難しいようであれば、「朝日新聞発行　年間ニュース一覧」を配布してもよい。 ・生徒の解答は、板書してランキングして共有する。 ・生徒全員から解答を吸い上げることが望ましいが、時間に配慮して進める。	

展開① 10 分	○資料を見て、国内の「10 大ニュース」を予測させる。	・資料を提示する。	●朝日新聞　発行 ：2013 年　年間ニュース一覧 （毎年、年末の紙面に掲載。） ※上記では、数が多すぎるようであれば、事前に 20 程度に絞り込んでもよい。
展開② 15 分	○２人~４人組を作り、チームとしての解答「10 大ニュース」を予想する。 ○答え合わせをする。	・解答は板書させる。 ・全チーム解答が出揃ったら、解答を配布し、解答数を競わせてもよい。 ※学力に応じて、【国内・海外】の２通りを行ってもよい。	●読売新聞　発行 ：読者が選ぶ 2013 年 10 大ニュース【国内】【海外】 （毎年、12 月 20 日前後に掲載。） ※「10 大ニュース」の解答は、上記とする。
展開③ 10 分	○ワークシートに穴埋めする。	・学力に応じて、教科書を見ながら埋めさせてもよい。	●ワークシート
まとめ 5 分	○中学校の教科書を見て、答え合わせする。	・世の中のニュースが、教科書の内容とつながっていることを体感させ、これから 1 年間学習することが重要であることを認識させる。 ・右記のページを参考に、次回の「地球環境問題」につながるように説明する。	●中学校「公民」教科書 （東京書籍） ●高校「現代社会」教科書 ・p.11　COP15 ・p.14～15　写真

☆2012～2013年のニュースを思い出しながら、そのニュースに関連する中学校の学習内容を復習しましょう。

◎2012年8月10日

消費増税法が成立。現行の **5** %の消費税を、2014年4月に **8** %、15年10月に **10** %に引き上げる。

中学校で学習したこと (p.130・131)　**【※高校では、p.116～118で学びます】**

政府（国・地方公共団体）が収入を得て、それを支出する経済活動を **財政** といいます。

政府の収入は主に **税金** （租税）によってまかなわれます。税金は、国が集める国税と、地方公共団体が集める地方税とに分けられます。

税金を納める義務のある人（納税者）と税金を実際に負担する人（担税者）とは、必ずしも一致するとは限りません。所得税・法人税は、納税者と担税者が一致しますが、酒税や **消費税** の場合、納税者は生産者（酒税）、販売者（消費税）であるにもかかわらず、実際に税金を負担するのは消費者です。納税者と担税者が一致する税金を **直接税** 、一致しない税金を **間接税** といいます。

政府の収入は原則として税金によってまかなわなければなりません。しかし、税金だけでは必要な収入が得られない場合、政府は税収の不足分を補うために **公債** （国の場合は **国債** 、地方公共団体の場合は **地方債** ）を発行して借り入れを行います。

公債は借金ですから、政府は公債を買った人に **利子** を支払い、元金を返済しなければなりません。安易に公債を発行すると利子の支払いや元金の返済が大変ですし、将来世代に負担を回すことになるので、公債の発行は慎重に行わなければなりません。

◎2012年12月16日

衆議院 議員総選挙で自民党が圧勝、安倍晋三内閣が発足。

◎2013年6月

衆議院 議員総選挙の小選挙区制において、「1票の格差」を是正するため、公職選挙法が改正され、小選挙区の「0増5減」を行われた。次回の選挙から小選挙区295名の選出、全体の定数475名となる。

◎2013年7月21日

参議院 議員選挙が行われ、自民党が圧勝し、衆議院・参議院の「ねじれ国会(※)」が解消。

※衆議院で、議席（議員数）の過半数を占める与党が、参議院では、野党が議席の過半数を占める状態。衆議院で法律案を可決しても、参議院では否決される可能性があるため、与党は法律案を通しづらく、政権が安定しない。

中学校で学習したこと (p.70～71)　**【※高校では、p.84～85で学びます】**

選挙制度には、1つの選挙区で1人の代表を選ぶ **小選挙区制** 、2人以上を選ぶ大選挙区制、得票に応じて各政党へ議席を配分する **比例代表制** があります。

衆議院議員の選挙は、小選挙区制（定数300）と全国を11のブロックに分けて行う比例代表制（定数180）を組み合わせる選挙制度（ **小選挙区比例代表並立制** ）が採られています。

また、参議院議員の選挙は、都道府県を単位として選挙ごとに各1～5の代表を選ぶ **選挙区制** （定数146）と、全国を1つの単位とした **比例代表制** （定数96）で行われ、3年ごとに全体の半数ずつが改選されます。

選挙の課題として、選挙区によって選出する議員1人当たりの有権者数に違いがあります。そのため、1票の持つ価値が異なる「 **1票の格差** 」という問題があります。

◎2012 年 12 月 12 日

朝鮮民主主義人民共和国（ **北朝鮮** ）が、長距離弾道ミサイルの発射実験に成功。

◎2013 年 2 月 12 日

北朝鮮 が３度目の **核** 実験を強行。

◎2013 年 3 月 7 日

北朝鮮 に対して、国連の**安全保障理事会**が制裁決議案を全会一致で採択する。

中学校で学習したこと (p.152・158) **【※高校では、p.156～159・162～163 で学びます】**

第２次世界大戦のような大戦争や、世界各地で起こっている地域紛争を防ぐのに重要なのが、兵器を削減すること、つまり **軍縮** です。特に巨大な威力を持つ核兵器の廃絶は重要です。アメリカとロシアは核兵器を削減する努力をしています。また、核保有国以外の国々が核兵器を持つことを禁止した **核拡散防止条約** も締結されました。

第１次世界大戦の反省から、1920 年に国際連盟が生まれました。しかし、国際連盟は第２次世界大戦が起こるのを防ぐことはできませんでした。再び戦争を起こさないように、1945 年に **国際連合** （国連）が生まれました。

2011 年現在、国連には 193ヵ国が加盟しています。本部は、アメリカのニューヨークに置かれ、 **総会** ・ **安全保障理事会** （安保理）・経済社会理事会・国際司法裁判所などの主な機関と、国連教育科学文化機関（UNESCO）や世界保健機関（WHO）などの **専門機関** などからなっています。

◎2013 年 1 月 30 日

中国 の海軍艦艇が、日本の海上自衛隊の護衛艦をレーダー照射。

中学校で学習したこと (p.150・151) **【※高校では、p.154～155 で学びます】**

世界のほとんどの人々は、いずれかの国の国民として暮らしています。世界には 190 余りの国があり、それぞれの国は **主権** を持っています。

国家の主権が及ぶ範囲を **領域** といいます。領域は、領土・領海・領空から成ります。領海の周りの水域は **経済水域** と呼ばれ、その水域の漁業・鉱山資源などの権利は沿岸国にあります。しかし、時には経済水域の重なる国と国との間で、その権利を巡って争いが起こることがあります。

沖縄県先島諸島の北方に位置する **尖閣諸島** は日本の領土ですが、中国が領有権を主張しています。

◎2013 年 11 月 11 日～11 月 22 日

ポーランドのワルシャワで、 **ＣＯＰ** 19(※)が開催される。

※1992 年の**地球サミット**(**国連環境開発会議**)で採択された「**気候変動枠組条約**」の締約国による、**温室効果ガス**排出削減策等を協議する会議。1995 年の第 1 回会議(COP1、ベルリン)以来、毎年開催されている。今年で 19 回目なので、COP19。

中学校で学習したこと (p.164・165) **【※高校では、p.6～11 で学びます】**

地球温暖化 は、様々な環境破壊の原因となる問題で、私たちの生活の中で排出される二酸化炭素などの **温室室効果ガス** の増加が原因とされています。

1992 年、 **国連環境開発会議** （地球サミット）が開かれ、気候変動枠組み条約などが採択されるなど、地球環境の保全と **持続可能な開発** の実現のための具体的取り組みについて話し合われました。1997 年には、地球温暖化防止京都会議が開かれ、温室効果ガスの排出削減を先進工業国に義務付ける **京都議定書** が採択されました。

☆2012～2013年のニュースを思い出しながら、そのニュースに関連する中学校の学習内容を復習しましょう。

◎2012年8月10日

消費増税法が成立。現行の＿＿％の消費税を、2014年４月に＿＿％、15年10月に＿＿＿％に引き上げる。

中学校で学習したこと (p.130・131)　**【※高校では、p.116～118で学びます】**

政府（国・地方公共団体）が収入を得て、それを支出する経済活動を＿＿＿＿といいます。

政府の収入は主に＿＿＿＿（租税）によってまかなわれます。税金は、国が集める国税と、地方公共団体が集める地方税とに分けられます。

税金を納める義務のある人（納税者）と税金を実際に負担する人（担税者）とは、必ずしも一致するとは限りません。所得税･法人税は、納税者と担税者が一致しますが、酒税や＿＿＿＿の場合、納税者は生産者（酒税）、販売者（消費税）であるにもかかわらず、実際に税金を負担するのは消費者です。納税者と担税者が一致する税金を＿＿＿＿、一致しない税金を＿＿＿＿といいます。

政府の収入は原則として税金によってまかなわなければなりません。しかし、税金だけでは必要な収入が得られない場合、政府は税収の不足分を補うために＿＿＿＿（国の場合は＿＿＿＿、地方公共団体の場合は＿＿＿＿）を発行して借り入れを行います。

公債は借金ですから、政府は公債を買った人に＿＿＿＿を支払い、元金を返済しなければなりません。安易に公債を発行すると利子の支払いや元金の返済が大変ですし、将来世代に負担を回すことになるので、公債の発行は慎重に行わなければなりません。

◎2012年12月16日

＿＿＿＿議員総選挙で自民党が圧勝、安倍晋三内閣が発足。

◎2013年6月

＿＿＿＿議員総選挙の**小選挙区制**において、「**１票の格差**」を是正するため、公職選挙法が改正され、小選挙区の「０増５減」を行われた。次回の選挙から小選挙区295名の選出、全体の定数475名となる。

◎2013年7月21日

＿＿＿＿議員選挙が行われ、自民党が圧勝し、衆議院・参議院の「ねじれ国会(※)」が解消。

※衆議院で、議席（議員数）の過半数を占める与党が、参議院では、野党が議席の過半数を占める状態。衆議院で法律案を可決しても、参議院では否決される可能性があるため、与党は法律案を通しづらく、政権が安定しない。

中学校で学習したこと (p.70～71)　**【※高校では、p.84～85で学びます】**

選挙制度には、１つの選挙区で１人の代表を選ぶ＿＿＿＿、２人以上を選ぶ大選挙区制、得票に応じて各政党へ議席を配分する＿＿＿＿があります。

衆議院議員の選挙は、小選挙区制（定数300）と全国を11のブロックに分けて行う比例代表制（定数180）を組み合わせる選挙制度（＿＿＿＿＿＿＿＿）が採られています。

また、参議院議員の選挙は、都道府県を単位として選挙ごとに各１～５の代表を選ぶ＿＿＿＿（定数146）と、全国を１つの単位とした＿＿＿＿（定数96）で行われ、３年ごとに全体の半数ずつが改選されます。

選挙の課題として、選挙区によって選出する議員１人当たりの有権者数に違いがあります。そのため、１票の持つ価値が異なる「＿＿＿＿」という問題があります。

◎2012 年 12 月 12 日

朝鮮民主主義人民共和国（＿＿＿＿）が、長距離弾道ミサイルの発射実験に成功。

◎2013 年 2 月 12 日

＿＿＿＿が３度目の＿＿＿実験を強行。

◎2013 年 3 月 7 日

＿＿＿＿に対して、国連の**安全保障理事会**が制裁決議案を全会一致で採択する。

中学校で学習したこと (p.152・158) **【※高校では、p.156～159・162～163 で学びます】**

第２次世界大戦のような大戦争や、世界各地で起こっている地域紛争を防ぐのに重要なのが、兵器を削減すること、つまり＿＿＿＿です。特に巨大な威力を持つ核兵器の廃絶は重要です。アメリカとロシアは核兵器を削減する努力をしています。また、核保有国以外の国々が核兵器を持つことを禁止した＿＿＿＿＿＿も締結されました。

第１次世界大戦の反省から、1920 年に国際連盟が生まれました。しかし、国際連盟は第２次世界大戦が起こるのを防ぐことはできませんでした。再び戦争を起こさないように、1945 年に＿＿＿＿＿（国連）が生まれました。

2011 年現在、国連には 193ヵ国が加盟しています。本部は、アメリカのニューヨークに置かれ、＿＿＿＿・＿＿＿＿＿＿（安保理）・経済社会理事会・国際司法裁判所などの主な機関と、国連教育科学文化機関（UNESCO）や世界保健機関（WHO）などの＿＿＿＿＿などからなっています。

◎2013 年 1 月 30 日

中国の海軍艦艇が、日本の海上自衛隊の護衛艦をレーダー照射。

中学校で学習したこと (p.150・151) **【※高校では、p.154～155 で学びます】**

世界のほとんどの人々は、いずれかの国の国民として暮らしています。世界には 190 余りの国があり、それぞれの国は＿＿＿＿を持っています。

国家の主権が及ぶ範囲を＿＿＿＿といいます。領域は、領土・領海・領空から成ります。領海の周りの水域は＿＿＿＿＿と呼ばれ、その水域の漁業・鉱山資源などの権利は沿岸国にあります。しかし、時には経済水域の重なる国と国との間で、その権利を巡って争いが起こることがあります。

沖縄県先島諸島の北方に位置する＿＿＿＿＿は日本の領土ですが、中国が領有権を主張しています。

◎2013 年 11 月 11 日～11 月 22 日

ポーランドのワルシャワで、＿＿＿＿19(※)が開催される。

※1992 年の**地球サミット**(**国連環境開発会議**)で採択された「**気候変動枠組条約**」の締約国による、**温室効果ガス**排出削減策等を協議する会議。1995 年の第 1 回会議(COP1、ベルリン)以来、毎年開催されている。今年で 19 回目なので、COP19。

中学校で学習したこと (p.164・165) **【※高校では、p.6～11 で学びます】**

＿＿＿＿＿は、様々な環境破壊の原因となる問題で、私たちの生活の中で排出される二酸化炭素などの＿＿＿＿＿＿の増加が原因とされています。

1992 年、＿＿＿＿＿＿（地球サミット）が開かれ、気候変動枠組み条約などが採択されるなど、地球環境の保全と＿＿＿＿＿＿の実現のための具体的取り組みについて話し合われました。1997 年には、地球温暖化防止京都会議が開かれ、温室効果ガスの排出削減を先進工業国に義務付ける＿＿＿＿＿が採択されました。